

4. 個人の研究業績

凡 例

氏 名

- (1 公刊図書等)
- (2 報告書)
- (3 論文)
- (4 解説、翻訳等)
- (5 学会発表)
- (6 講演会、研究会発表)
- (7 所属学会、委員等)
- (8 教育等)

相澤正彦 AIZAWA Masahiko (客員研究員)

- (3 論文) 水墨画の西と東 正木美術館編『水墨画・墨跡の魅力』 pp.82-105 吉川弘文館 08.10
- (3 論文) 室町時代の二つの九相詩図巻 『九相図画像集成』 pp.212-224 岩田書店 09.2
- (3 論文) 二つの水亭書齋図 『アジア遊学』 120 pp.168-173 勉誠出版 09.3
- (6 研究発表) 北野天神縁起絵巻の歴史の変遷 特別展「国宝 天神さま一菅原道真と天満宮の至宝」記念シンポジウム九州国立博物館 08.10.25
- (6 研究発表) 室町肖像画の型 企画情報部研究会 東京文化財研究所 08.12.22
- (6 講演) 室町水墨画に見る東と西一関東水墨画をめぐる 日本美術講演会板橋区立美術館 08.5.10
- (6 講演) 水墨画・墨蹟の魅力 正木美術館40周年シンポジウム 東京美術倶楽部 08.9.28
- (6 シンポジウム司会) セッション討議 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために」 東京国立博物館 08.12.6
- (7 所属学会) 美術史学会
- (8 教育) 成城大学教授

青木繁夫 AOKI Shigeo (客員研究員)

- (4 紹介) 大塚初重が選ぶ遺跡15選 『博物館活動支援センターレクチャーシリーズ VOL.1』 08.10.4
- (6 講演) 発掘現場での保存処理 文化財保護協会 08.07.28
- (6 講演) 遺跡と博物館 NPO法人博物館活動支援センター 08.10.4
- (6 講演) 自然災害の対応について 文化遺産国際協力コンソーシアム 09.2.20
- (6 講演) 考古資料の保存について (週1回連続講演) 早稲田大学エジプト学研究所
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、文化財科学会、日本考古学協会、日本文化財探査学会、ICOMOS、IIC、比較文明史学会
- (7 委員) 独立行政法人科学振興機構その他革新技術分野分科会委員、千葉県文化財保護審議会委員、史跡埼玉古墳群整備委員会委員、千葉市博物館協議会委員、埼玉大学地圏科学研究センター研究評価委員会委員、寛永寺徳川家墓所発掘調査会委員
- (8 教育) サイバー大学世界遺産学部教授、國學院大學文学部史学科非常勤講師、日本大学文理学部史学科非常勤講師

秋枝ユミザベル AKIEDA Yumi Isabelle (特別研究員)

- (2 報告書編共著) 『文化遺産国際協力拠点交流事業 インドネシア文化観光省 ポロブトゥール遺跡保

存研究所との研究交流 業務報告書（2008年度）』（朽津信明、マルシス・ストボ、ジョコ・ルクナント、二神葉子、森井順之、秋枝ユミイザベル、ナハール・チャヤンダル） 東京文化財研究所 09.3

(2 報告書編集) Reference Materials – Natural Disasters, Immovable Cultural heritage and Emergency Actions in Southeast Asia, Expert Meeting on Cultural Heritage: Restoration and conservation of immovable heritage damaged by disasters, 14-16 January 2009, Bangkok / Ayutthaya, Thailand, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo [アジア文化遺産国際会議資料集] 09.1

(6 研修・指導講師) 立命館大学歴史都市防災研究センター ユネスコ・チェア「文化遺産と危機管理」国際研修 講師 08.11.3-11

(6 研修指導) UNITAR Hiroshima Fellowship for Afghanistan, Mentor

(7 所属学会) 日本建築学会、建築史学会、ICOMOS (イコモス)

(8 教育等) 東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻 (非常勤講師)

安倍雅史 ABE Masashi (客員研究員)

(3 論文) The Development of Urbanism and Pastoral Nomads in the Southern Levant: Chalcolithic and Early Bronze Age Stone Tool Production Industries and Flint Mines in the Jafr Basin, Southern Jordan, Ph D Thesis Submitted to the University of Liverpool, 08.4.

(3 論文) PPNB Frontier in Southern Jordan: A Preliminary Report on the Archaeological Surveys and Soundings in the Jafr Basin, Southern Jordan 1995-2005 (Fujii SUMIO and Masashi ABE) AI-RAFIDAN 29, pp.63-94, 08.4.

(3 論文) 南レヴァント地方、都市出現期の遊牧社会の変質：ジャフル盆地のタビュラー・スクレイパー製作址の研究から 『西アジア考古学』 9 pp.45-59 08.3

(3 論文) 石器製作から見た専門化の発展：レヴァント地方南部前期青銅器時代を事例に 『オリエント』 51 (1) pp.140-164 08.10

(3 論文) ヨルダン南部ジャフル盆地におけるジャフル石刃製作址とジャフル石刃製作技術の研究 『岡山市立オリエント美術館紀要』 22 pp.71-90 08.4

(5 学会発表) 石器製作から見た専門化の発展：レヴァント地方南部前期青銅器時代を事例に 日本西アジア考古学会第13回（2008年度）総会・大会 慶應義塾大学 08.6.15

(7 所属学会) 日本西アジア考古学会、オリエント学会

有村誠 ARIMURA Makoto (特別研究員)

(2 報告) 考古学調査 『パーミヤーン遺跡保存事業概報—2007年度（第8次ミッション）—』 アフガニスタン文化遺産調査資料集概報第4巻 アフガニスタン・イスラーム共和国情報文化省、独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所・奈良文化財研究所 08.6.30

(2 報告) Archaeological Investigations, Kazuya YAMAUCHI ed., Preliminary Report on the Safeguarding of the Bamiyan Site 2007 —8th Mission—, Recent Cultural Heritage Issues in Afghanistan, Preliminary Report Series 4, Ministry of Information and Culture, Islamic Republic of Afghanistan, Japan Center for International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo/Nara, 08.

(2 報告) L'abri de Tsaghkahovit (M. Arimura, A. Balasescu, C. Chataigner, V. Radu), Mission Caucase, Rapport scientifique 2008, D.G.R.C.S.T. Ministère des Affaires Etrangères Français, pp.49-59, 08.11

(2 報告) タジキスタン、アジナ・テバ仏教寺院の保存事業—2008年度の成果—(山内和也、有村誠) 『平成20年度 考古学が語る古代オリエント』 pp.114-119 日本西アジア考古学会 09.3

(4 翻訳) 第4章 肥沃な三日月地帯をこえて 『農耕起源の人類史』 pp.105-152 京都大学学術出版会 08.7

(6 発表) 考古学からみた農耕のはじまり 連続公開講座「ユーラシア農耕史—風土と農耕の醸成」第7回 同志社大学 08.11.22

(6 発表) タジキスタン、アジナ・テバ仏教寺院の保存事業—2008年度の成果— (山内和也、有村誠) 平成20年度考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会 古代オリエント博物館 09.3.15

(7 所属学会) 日本西アジア考古学会

飯島満 IJIMA Mitsuru (無形文化遺産部)

(3 論文) 文楽忠臣蔵四段目の由良助 『歌舞伎 研究と批評』 40 pp.28-44 08.9

(3 論文) 文楽の映像資料 『国文学解釈と教材の研究 臨時増刊 文楽—人形浄瑠璃への招待—』 pp.56-61 學燈社 08.10

(4 報告) 国立音楽大学附属図書館寄贈竹内道敬旧蔵音盤目録 (3) 『無形文化遺産研究報告』 3 pp.193-231 東京文化財研究所無形文化遺産部 09.3

(4 エッセイ) 文楽開眼—断想・吉田玉男— 『歌舞伎 研究と批評』 40 pp.5-12 08.9

(6 講演) 古典芸能の伝承と変遷—人形浄瑠璃文楽の場合— 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会 東京国立博物館平成館大講堂 08.12.7

(6 講演) 日本の音声資料とSPレコードの五十年 第3回無形文化遺産部公開学術講座 国立能楽堂大講義室 08.12.16

(7 所属学会) 楽劇学会、歌舞伎学会、日本演劇学会、日本近世文学会、情報処理学会

(7 委員会) 独立行政法人日本芸術文化振興会本館文楽公演専門委員

(8 教育) 早稲田大学演劇博物館演劇研究センター客員講師

石崎武志 ISHIZAKI Takeshi (保存修復科学センター)

(2 報告) 熊本城「細川家舟屋形」の保存環境調査 (犬塚将英、福西大輔、石崎武志) 『保存科学』 48 pp.147-152 09.3

(2 報告) 国宝高松塚古墳壁画修理作業室の一般公開時における環境測定 (犬塚将英、佐野千絵、木川りか、石崎武志、建石徹) 『保存科学』 48 pp.147-152 09.3

(2 報告) キトラ古墳保護覆屋内の環境について (4) —周辺風環境の解析および覆屋内環境監視— (森井順之、犬塚将英、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』 48 pp.159-166 09.3

(2 報告) 「殺虫/殺菌処理、防虫剤などについての緊急アンケート」調査結果について (木川りか、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』 48 pp.233-240 09.3

(2 報告) 展示公開施設の館内環境調査報告—平成19年度— (吉田直人、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』 48 pp.241-246 09.3

(2 報告) Thermal and moisture characteristics of the Takamatsuzuka Tumulus mound and its cooling (Takeshi Ishizaki, Sadatoshi Miura, Masahide Inuzuka and Mamoru Mimura), Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures, Proceedings of the 31st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 2008, pp.17-22, 09.3

(2 報告) Control of temperature and humidity surrounding the stone chamber of Takamatsuzuka Tumulus during its dismantlement (Daisuke Ogura, Masahide Inuzuka, Shuichi Hokoi, Takeshi Ishizaki, Hiroyuki Kitahara and Jiro Tamara), Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures, Proceedings of the 31st Interna-

tional Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 2008, pp.75-82, 09.3

(2 報告) Biological issues in the conservation of mural paintings of Takamatsuzuka and Kitortumuli in Japan. (RiKa Kigawa, Chie Sano, Takeshi Ishizaki, Sadatoshi Miura and Junta Sugiyama), Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures, Proceedings of the 31st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 2008, pp.43-50, 09.3

(3 論文) NON-DESTRUCTIVE INVESTIGATION OF WATER CONTENT PROFILE OF THE LIME PLASTER WALL IN TUMULUS (Takeshi Ishizaki, Chie Sano and Sadatoshi Miura), Proceedings of the International Workshop of In Situ Monitoring of Monumental Surfaces, Istituto per la Conservazione e la Valorizzazione del Beni Culturali CNR, pp.385-390, 08.10

(3 論文) 過去の高松塚古墳石室内の温湿度変動解析—保存施設稼働時の気象条件の影響と発掘直後の仮保存施設の影響— (小椋大輔、銚井修一、李永輝、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』48 pp.1-12 09.3

(4 解説) 文化財を構成する多孔質部材の劣化 熱物性 Vol.22, No.2, pp.125-129 08.5

(5 学会発表) 石水博物館の千歳文庫内の温湿度解析 (犬塚将英、石崎武志、龍泉寺由佳) 文化財保存修復学会第30回大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) 高松塚古墳石室解体時の環境制御と石室内の温湿度 (石崎武志、犬塚将英、小椋大輔、銚井修一、多羅間次郎、北原博幸) 文化財保存修復学会第30回大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) 高松塚古墳の版築土および石室石材の水分特性測定 (カリル・マグディ、石崎武志) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15

(5 学会発表) 古墳壁画の保存に関する研究 その3) 石室解体時の温湿度環境制御 (小椋大輔、多羅間次郎、銚井修一、石崎武志、北原博幸) 日本建築学会大会 広島大学 08.8.18-20

(5 学会発表) 古墳壁画の保存に関する研究 その4) 石室解体時における墳丘部の形状変化が石室の熱水分性状に与える影響 (多羅間次郎、小椋大輔、銚井修一、石崎武志、北原博幸) 日本建築学会大会 広島大学 08.8.18-20

(5 学会発表) 古墳壁画の保存に関する研究 その5) 古墳壁画発見時の熱性状解析 (李永輝、小椋大輔、銚井修一、石崎武志、北原博幸) 日本建築学会大会 広島大学 08.8.18-20

(5 学会発表) Conservation of the mural paintings in Takamatsuzuka and Kitortumuli in Japan (Takeshi Ishizaki and Rika Kigawa) Lascaux and preservation issues in a subterranean environment, Auditorium Colbert, Paris, 09.02.26-27

(6 発表) 遺構保存と水、埋蔵文化財の保存・活用における遺構露出展示の成果と課題 平成20年度遺跡整備・保存修復科学合同研究集会 奈良文化財研究所 09.1.30-31

(6 発表) 高松塚古墳の保存 シンポジウム「古代の土構造とその保存」 大阪府立狭山池博物館 09.3.28

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本文化財探査学会、日本雪氷学会、地盤工学会、日本建築学会、IIC、IIC-Japan、ICOMOS

(7 委員会) 古墳壁画保存活用検討会委員、古墳壁画保存活用検討会ワーキンググループ委員、長浜曳山祭行事、曳山保存専門委員会委員

(8 教育) 東京藝術大学大学院文化財保存学専攻システム保存学保存環境学講座教授 (連携併任)

犬塚将英 INUZUKA Masahide (保存修復科学センター)

(2 報告) 熊本城「細川家舟屋形」の保存環境調査 (犬塚将英、福西大輔、石崎武志) 『保存科学』48

pp.147-152 09.3

(2 報告) 国宝高松塚古墳壁画修理作業室の一般公開時における環境測定 (犬塚将英、佐野千絵、木川りか、石崎武志、建石徹) 『保存科学』48 pp.153-158 09.3

(2 報告) キトラ古墳保護覆屋内の環境について (4) —周辺風環境の解析および覆屋内環境監視— (森井順之、犬塚将英、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』48 pp.159-166 09.3

(2 報告) Thermal and moisture characteristics of the Takamatsuzuka Tumulus mound and its cooling (Takeshi Ishizaki, Sadatoshi Miura, Masahide Inuzuka and Mamoru Mimura), Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures, Proceedings of the 31st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 2008, pp.17-22, 09.3

(2 報告) Control of temperature and humidity surrounding the stone chamber of Takamatsuzuka Tumulus during its dismantlement (Daisuke Ogura, Masahide Inuzuka, Shuichi Hokoi, Takeshi Ishizaki, Hiroyuki Kitahara and Jiro Tamara), Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures, Proceedings of the 31st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property, National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 2008, pp.75-82, 09.3

(5 学会発表) 石水博物館千歳文庫内の温湿度解析 (犬塚将英、石崎武志、龍泉寺由佳) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) 高松塚古墳石室解体時の環境制御と石室内の温湿度 (石崎武志、犬塚将英、小椋大輔、銚井修一、多羅間次郎、北原博幸) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) 文化財調査用可搬型X線検出器の開発研究 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15

(5 学会発表) 高松塚古墳石室解体時の石室及び周辺地盤の温湿度性状の熱水分同時移動解析 (小椋大輔、多羅間次郎、銚井修一、石崎武志、北原博幸、犬塚将英) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15

(6 発表) Application of GEANT4 Simulation to X-ray Radiography of Cultural Properties, 13th GEANT4 Collaboration Workshop 神戸大学 08.10.6-8

(6 発表) 石水博物館千歳文庫内の温湿度解析 (犬塚将英、龍泉寺由佳) 第13回博物館保存科学研究会 三重県立美術館 09.2.13-14

(6 講演) 文化財保存科学における放射線計測技術の応用 基礎物理学談話会 東京工業大学 08.9.10

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、日本物理学会

(7 委員会) 文化財保存修復学会誌編集委員、ひたちなか市史跡保存対策委員、国立民族学博物館共同研究員

井上さやか INOUE Sayaka (特別研究員)

(6 発表) ガラス乾板デジタル化の流れ 企画情報部研究会 東京文化財研究所 08.6.27

(7 所属学会等) 日本図書館協会、アート・ドキュメンテーション学会

岩井俊平 IWAI Shumpei (客員研究員)

(3 論文) パーミヤーン初期窟壁画の源流 『西南アジア研究』68 pp.63-81 08.3 (前年度業績)

(6 講演) パーミヤーンと中央アジアの仏教遺跡 中日文化センター教養講座 中日文化センター 08.5.24

(6 講演) 中央アジア仏教遺跡の年代 仏教史学会仏教史学入門講座 キャンパスプラザ京都 08.6.21

(6 講演) パーミヤーン遺跡周辺からみた仏教とイスラーム 日本イスラム協会講演会 東京大学
08.11.29

(7 所属学会) 日本オリエント学会、日本西アジア考古学会、仏教史学会

ウーゴ/ミズコ UGO Mizuko (客員研究員)

(4 翻訳) K. Fujii著 New Urban Strategy for Provincial Cities in Japan, Y. Fujino, T. Noguchi
編『Stock Management for Sustainable Urban Regeneration』pp.67-80 Springer, Tokyo 09

(7 所属学会) 日本建築学会、日本ICOMOS国内委員会、国際基督教大学アジア文化研究所研究員

(8 教育等) 筑波大学大学院人間総合科学研究科世界文化遺産学専攻非常勤講師

宇野朋子 UNO Tomoko (特別研究員)

(2 報告書) Preliminary Report on the Environmental Investigation for the Conservation of
the Bamiyan Site: 2005 and 2006 Seasons, Tomoko Uno, Kazuya Yamauchi (ed.), National
Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 09.3.

(5 学会発表) パーミヤーン石窟壁画の保存状態と微環境に関する研究—壁面にあたる日射の影響— (宇
野朋子) 保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) スコータイ遺跡における仏像の保存に関する研究—周辺気象の計測と藻の繁茂状況— (川
本伸一・銚井修一・宇野朋子・小椋大輔) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20

(5 学会発表) インドネシアの現状 (宇野朋子・銚井修一・Sri Nastiti Ekasiwi) 2008年度日本建築
学会大会 (中国) 地球環境部門研究協議会 「アジア地域における建築とSustainable Development」
pp.14-23 広島大学 08.9.18-20

(5 学会発表) 環境と石窟劣化の関係に関する研究 (中国語) (岡田健、高林弘実、宇野朋子) 古遺址
保護国際学術討論会 敦煌研究院 (中国) 08.9.24

(7 所属学会) 日本建築学会、文化財保存修復学会、ICOMOS

江村知子 EMURA Tomoko (企画情報部)

(3 論文) 尾形光琳筆「四季草花図」について 『日本美術史の杜—村重寧先生・星山晋也先生古稀記念
論文集』 pp.352-365 竹林舎 08.9

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 1・光琳作品の魅力—機知に富む構図、明快な色と形 『趣味の水墨画』
229 pp.66-69 08.4

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 2・調和と余白の美—俵屋宗達 『趣味の水墨画』 230 pp.66-69 08.5

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 3・軽妙洒脱な江戸の粋—英—蝶 『趣味の水墨画』 231 pp.66-69 08.6

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 4・画壇の家康—狩野探幽 『趣味の水墨画』 233 pp.66-71 08.8

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 5・剣画禅—一如—宮本武蔵 『趣味の水墨画』 234 pp.68-71 08.9

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 6・安逸の水墨画—伊藤若冲 『趣味の水墨画』 235 pp.66-71 08.10

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 7・写生派の祖、実感を写す—円山応挙 『趣味の水墨画』 236 pp.62-
67 08.11

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 8・単孤無頼の彼方に—曾我蕭白 『趣味の水墨画』 237 pp.66-71
08.12

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 9・鋭敏な感覚と才知みなぎる筆—長澤蘆雪 『趣味の水墨画』 238
pp.68-71 09.1

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 10・文芸と絵画が織りなす美学—酒井抱一 『趣味の水墨画』 239
pp.66-71 09.2

(4 解説) 構図の妙 筆の冴え 11・江戸の機知、近代への道程—鈴木其一 『趣味の水墨画』 240

pp.62-65 09.3

(4 解説)「日吉山王祭礼図屏風」(ヒューストン美術館)『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 平成20年度絵画/工芸品』pp.43-45 東京文化財研究所 09.3

(6 パネル展示) 洛中洛外図屏風(カナダ・ロイヤルオンタリオ美術館蔵)の修理 東京文化財研究所 エントランスロビー 08.4.1~08.8.27

(6 発表) 彦根屏風の表現について—日本絵画史の視点から 総合研究会 東京文化財研究所 08.7.1

(6 発表) 遊興文化の残映:彦根屏風の光学調査と情報化 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために」東京国立博物館 08.12.8

(6 講演) 神々の渡御—日吉山王祭礼図屏風の図様について Art Conservation Symposium, Art Unfolded: Japan's Gift of Conservation, the Museum of Fine Arts, Houston 09.1.19

(7 所属学会) 美術史学会

大島暁雄 OSHIMA Akio (客員研究員)

(3 論文) 民俗行事の変化とその評価について—愛知県「鳥羽の火まつり」を例に—『無形文化遺産研究報告』3 pp.91-102 東京文化財研究所 09.3

岡田健 OKADA Ken (文化遺産国際協力センター)

(2 報告) 日中共同唐代陵墓石彫像保護修復プロジェクトの経緯と意義(中国語)『中国文物報』2009.3.18

(3 論文) 敦煌莫高窟第285窟北壁壁画に描かれた如来や菩薩の衣の彩色技法(佐藤香子、高林弘実、靱井基光、岡田健、范宇樞、張文元)『保存科学』48 pp.75-84 09.3

(5 学会発表) 敦煌莫高窟初期窟の放射性炭素年代(高林弘実、中村俊夫、郭青林、岡田健) 日本文化財科学会25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15

(5 学会発表) 環境と石窟劣化の関係に関する研究(中国語)(岡田健、高林弘実、宇野朋子) 古遺址保護国際学術討論会 敦煌研究院(中国) 08.9.24

(6 発表) 敦煌莫高窟第285窟日中共同研究調査の成果から—文化財研究の可能性—(岡田健、高林弘実) 中国絵画研究会(研究代表:曾布川寛) ワークショップ「中国石窟寺院と石経」京都大学人文科学研究所 08.11.29

(6 発表) 龍門石窟—その文化的価値と保護の意味 ユネスコ文化遺産保護日本信託基金プロジェクト成果報告会 中国文化遺産研究院(中国) 09.2.21

(6 発表) 敦煌壁画を見る—敦煌莫高窟第285窟日中共同研究調査の成果から—(岡田健、高林弘実) 科学研究費補助金 基盤研究(A)「奈良時代の仏教美術と東アジアの文化交流」(研究代表:湯山賢一) 研究会 奈良国立博物館 09.3.9

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、美術史学会、東アジア文化遺産保存学会

(8 教育) 金沢美術工芸大学講師、早稲田大学オープン科目(シルクロード文化財保護)講師

小椋大輔 OGURA Daisuke (客員研究員)

(3 論文) 過去の高松塚古墳石室内の温湿度変動解析—保存施設稼働時の気象条件の影響と発掘直後の仮保存施設の影響—(小椋大輔、銚井修一、李永輝、石崎武志、三浦定俊)『保存科学』48 pp.1-12 09.3

(3 論文) 壁面緑化による室内及び屋外の熱環境への負荷低減効果の予測に関する研究(藤堂香織、小椋大輔、銚井修一、甲谷寿史)『日本建築学会環境系論文集』631 pp.1109-1116 08.9

(5 学会発表) 熱水分同時移動解析による史跡闘鶏山古墳の保存環境の検討(小椋大輔、前川昶和、銚井修一、高橋公一) 文化財保存修復学会第30回記念大会 太宰府市中央公民館 08.5.17-18

- (5 学会発表) 高松塚古墳石室解体時の環境制御と石室内の温湿度 (石崎武志、犬塚将英、小椋大輔、鉦井修一、多羅間次郎) 文化財保存修復学会第30回記念大会 太宰府市中央公民館 08.5.17-18
- (5 学会発表) 史跡鬮山古墳の保存環境の実態調査～石槨及び周辺地盤の熱水分に関する環境実測～ (小椋大輔、前川起和、鉦井修一、高橋公一) 文化財保存修復学会第30回記念大会 太宰府市中央公民館 08.5.17-18
- (5 学会発表) 高松塚古墳石室解体時の石室及び周辺地盤の温湿度性状の熱水分同時移動解析 (小椋大輔、多羅間次郎、鉦井修一、石崎武志、北原博幸、犬塚将英) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15
- (5 学会発表) 地下構造物の熱負荷算定法に関する研究 その4 線形近似化による任意気温変動下での熱負荷予測法の検討 (山添康彦、永井久也、小椋大輔) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20
- (5 学会発表) スコータイ遺跡における仏像の保存に関する研究—周辺気象の計測と藻の繁茂状況— (川本伸一、鉦井修一、小椋大輔、宇野朋子) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20
- (5 学会発表) 鬮山古墳の保存環境に関する研究 その1 石槨及び周辺地盤の環境実測 (鉦井修一、小椋大輔、前川起和) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20
- (5 学会発表) 鬮山古墳の保存環境に関する研究 その2 熱水分同時移動解析による石槨内温湿度の検討 (前川起和、鉦井修一、小椋大輔) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20
- (5 学会発表) 古墳壁画の保存に関する研究 その3 石室解体時の温湿度環境制御 (小椋大輔、多羅間次郎、鉦井修一、石崎武志、北原博幸) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20
- (5 学会発表) 古墳壁画の保存に関する研究 その4 石室解体時における墳丘部の形状変化が石室の熱水分性状に与える影響 (多羅間次郎、小椋大輔、鉦井修一、石崎武志、北原博幸) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20
- (5 学会発表) 古墳壁画の保存に関する研究 その5 古墳壁画発見時の熱性状解析 (李永輝、小椋大輔、鉦井修一、石崎武志) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20
- (5 学会発表) タイル張り仕上げのコンクリート壁体への水分浸透 その1 模型による吸水実験 (恩村定幸、鉦井修一、小椋大輔) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20
- (7 所属学会) 日本建築学会、空気調和・衛生工学会、日本熱物性学会、日本文化財科学会、文化財保存修復学会
- (7 委員会) 古墳壁画保存活用検討会保存技術ワーキンググループ、日本建築学会環境工学委員会熱環境運営委員会湿気小委員会、同小委員会吸放湿材の利用ワーキンググループ、空気調和・衛生工学会省エネルギー委員会、同住宅省エネルギー小委員会
- (8 教育) 京都大学大学院工学研究科建築学専攻助教

影山悦子 KAGEYAMA Etsuko (特別研究員)

- (3 論文) 中国新出ソグド人装具に見られる鳥翼冠と三面三日月冠—エフタルの中央アジア支配の影響— 『オリент』 50-2 pp.120-140 08.3.31 (前年度業績)
- (4 翻訳等) A.I. コソラポフ、B.I. マルシャーク著 (影山悦子訳) 中央アジアの壁画—美術史と科学分析による研究— 『佛教藝術』 298 pp.31-42 08.5
- (7 所蔵学会) 日本オリент学会、西南アジア研究会

柏谷博之 KASHIWADANI Hiroyuki (客員研究員)

- (3 論文) 紫外線照射装置を用いた磨崖仏着生生物の除去 (森井順之、川野邊渉、山路康弘、柏谷博之) 『保存科学』 48 pp.21-32 09.3
- (5 学会発表) タ・ネイ遺跡の石材表面に付着する地衣類と基物への菌糸の陥入 (文光喜、二神葉子、

朽津信明、柏谷博之) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.06.14-15

勝木言一郎 KATSUKI Gen'ichiro (企画情報部)

- (1 著書) 龍 (『日本の美術』510号) p.1-98 至文堂 08.11
- (3 論文) 地獄絵巡礼 地獄絵の源流へ 『アートトップ』221 p.18-19 08.4
- (4 その他) リートベルグ美術館蔵阿弥陀三尊来迎図作品解説 『平成18年度 在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書 絵画/工芸品』 p.131-132 東京文化財研究所 09.3
- (4 その他) 文化財アーカイブの構築とその発信に向けた新たな取り組み 『TOBUNKEN NEWS』No.35 p.2 08.11
- (4 その他) Column:東京文化財研究所を知っていただくために 『TOBUNKEN NEWS』No.35 pp.10-11 08.11
- (4 その他) 子供向けパンフレットの刊行 『TOBUNKEN NEWS』No.35 p.15 08.11
- (6 講演) 鬼子母神の源流をたずねる 第42回東京文化財研究所オープンレクチャー 東京文化財研究所 08.10.3
- (6 シンポジウム司会) セッション討議 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために」 東京国立博物館 08.12.7

加藤雅人 KATO Masato (保存修復科学センター)

- (1 著書) 稲葉正満、加藤雅人著『東京藝術大学美術学部紀要第46号 ライデン国立博物館所蔵シーボルト和紙コレクションの紙質調査』122p. 東京藝術大学美術学部 09.1
- (2 報告) 紙の繊維組成分析のための基礎的知見 (坪倉早智子、加藤雅人)『伝統的修復材料及び合成樹脂に関する調査研究報告書 2008年度』p.50 (資料 pp.5-45) 東京文化財研究所 09.3
- (2 報告) 「東京文化財研究所 保存修復資料室所蔵 資料目録」の作成について (その2) (早川典子、加藤雅人、坪倉早智子、菊池理予)『伝統的修復材料及び合成樹脂に関する調査研究報告書 2008年度』p.70 東京文化財研究所 09.3
- (2 報告) Paper Basics (紙の基礎) 『International Course on Conservation of Japanese Paper 2008: 紙の保存と修復 2008』pp.11-32 東京文化財研究所 09.3
- (3 論文) 二酸化炭素処理・酸化エチレン処理がジアゾタイプ複写物に及ぼす影響 (加藤雅人、木川りか、坪倉早智子、中山俊介) 『保存科学』48 pp.43-50 09.3
- (5 学会発表) 劣化したシアノタイプの修復—紫外線によるシアノタイプの劣化・再発色実験— (坪倉早智子、加藤雅人、中山俊介、荒木臣紀) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (6 講義) 劣化と保存 各論一紙—平成20年度保存担当学芸員研修 東京文化財研究所 08.7.22
- (6 講義) 紙の基礎 国際研修「紙の保存と修復」2008 東京文化財研究所 08.9.8
- (6 講演) Materials Used for the Restoration of Japanese Hanging Scrolls -Paper and Adhesives- 在外日本古美術品修復協力事業 (絵画) におけるワークショップ (ベルリン) ドイツ技術博物館 08.11.29
- (6 解説) 国宝高松塚古墳壁画修理作業室における現地解説 国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公開 (主催:文化庁、奈良文化財研究所、東京文化財研究所、国土交通省国営飛鳥歴史公園事務所、奈良県教育委員会、明日香村) 国宝高松塚古墳仮設修理施設 08.11.5
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会 (編集委員会幹事)、日本文化財科学会、木材学会

カリル・マグディ KHALIL Magdi (客員研究員)

- (5 学会発表) 高松塚古墳の版築土および石室石材の水分特性測定 (カリル・マグディ、石崎武志) 日

本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15

川野邊渉 KAWANOBE Wataru (保存修復科学センター)

(2 報告) Adhesives for the Restoration of Cultural Properties (文化財修復に用いられる膠着剤について) 『International Course on Conservation of Japanese Paper 2008: 紙の保存と修復 2008』 pp.34-39 東京文化財研究所 09.3

(2 報告) Issues Surrounding the Conservation of Modern Heritage 『Issues Surrounding the Conservation of Modern Heritage』 pp.4-10 東京文化財研究所 09.3

(2 報告) 日光山輪王寺におけるオオナガシバンムシ *Priobium cylindricum* による被害事例について (小峰幸夫、木川りか、原田正彦、藤井義久、藤原祐子、川野邊渉) 『保存科学』 48 pp.207-214 09.3

(2 報告) 穿孔抵抗測定法を用いた文化財建造物の構造部材の虫害評価に関する一考察—日光山輪王寺における虫害を事例として— (藤井義久、藤原祐子、原田正彦、木川りか、小峰幸夫、川野邊渉) 『保存科学』 48 pp.214-222 09.3

(2 報告) X線CTスキャナによる虫損部材の調査 (木川りか、鳥越俊行、今津節生、本多光子、原田正彦、小峰幸夫、川野邊渉) 『保存科学』 48 pp.223-232 09.3

(3 論文) 紫外線照射装置を用いた磨崖仏着生生物の除去 (森井順之、川野邊渉、山路康弘、柏谷博之) 『保存科学』 48 pp.21-32 09.3

(6 講演) キトラこの1年 春季特別展「キトラ古墳壁画十二支 子・丑・寅」記念講演会 奈良県立万葉文化館 08.5.17

(6 講義) 保存科学特論 平成20年度文化財建造物修理主任技術者講習会(上級コース) 京都市文化財建造物保存技術研修センター 08.8.29

(6 講義) 文化財修復に用いられる膠着剤について 国際研修「紙の保存と修復」2008 東京文化財研究所 08.9.9

(6 講義) 接着の科学(1) 第4回文化財(美術工芸品)修理技術者講習会 東京文化財研究所 08.10.24

(6 講義) 修理のための合成樹脂(2) 第4回文化財(美術工芸品)修理技術者講習会 東京文化財研究所 08.10.24

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、IIC、IIC-Japan

(7 委員会) 文化審議会専門委員(文化財分科会)、古墳壁画保存活用検討会委員、古墳壁画保存活用検討会保存技術ワーキンググループ専門委員、国宝高松塚古墳壁画修理作業室の一般公開に係る企画審査会委員、京都国立博物館文化財保存修理所運営委員会委員、奈良国立博物館文化財保存修理所運営委員会委員、九州国立博物館文化財保存修復施設運営委員会委員、史跡原爆ドーム保存技術指導委員会委員、石川県立美術館文化財保存修復工房運営委員会委員、高瀬石仏調査委員会委員、有限責任中間法人国宝装演師連盟「修理技術者資格制度委員会」委員、日本航空協会評議員

(8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻連携教授

木川りか KIGAWA Rika (保存修復科学センター)

(1 刊行図書) Combatting Pests of Cultural Property (Tom Strang and Rika Kigawa), CCI Technical Bulletin #29, Canadian Conservation Institute, 09.3

(2 報告) キトラ古墳の微生物等の状況報告(2008) (木川りか、佐野千絵、間淵創、喜友名朝彦、立里臨、西島美由紀、杉山純多) 『保存科学』 48 pp.167-174 09.3

(2 報告) X線CTスキャナによる虫損部材の調査 (木川りか、鳥越俊行、今津節生、本田光子、原田正彦、小峰幸夫、川野邊渉) 『保存科学』 48 pp.223-231 09.3

(2 報告) 「殺虫/殺菌処理、防虫剤などについての緊急アンケート」調査結果について (木川りか、佐

- 野千絵、石崎武志) 『保存科学』48 pp.233-240 09.3
- (2 報告) 国宝高松塚古墳壁画修理作業室の一般公開時における環境測定 (犬塚将英、佐野千絵、木川りか、石崎武志、建石徹) 『保存科学』48 pp.153-158 09.3
- (2 報告) 古墳等の高湿度作業環境での使用を想定した木材保存剤のかび抵抗性試験とTVOC測定 (間淵創、佐野千絵、木川りか) 『保存科学』48 pp.175-182 08.3
- (2 報告) 昭和初期和紙の褐色斑からの真菌分離および蛍光に関する報告 (吉川也志保、木川りか、関正純) 『保存科学』48 pp.175-182 08.3
- (2 報告) 日光山輪王寺本堂におけるオオナガシバムシ *Priobium cylindricum* による被害事例について (小峰幸夫、木川りか、原田正彦、藤井義久、藤原裕子、川野邊渉) 『保存科学』48 pp.207-213 09.3
- (2 報告) 穿孔抵抗測定法を用いた文化財建造物の構造部材の虫害評価に関する一考察—日光輪王寺における虫害を事例として— (藤井義久、藤原裕子、原田正彦、木川りか、小峰幸夫、川野邊渉) 『保存科学』48 pp.215-222 09.3
- (2 報告) Biological issues in the conservation of mural paintings of Takamatsuzuka and Kitortumuli in Japan (Rika Kigawa, Chie Sano, Takeshi Ishizaki, Sadatoshi Miura and Junta Sugiyama), "The 31st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property— Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures", pp.43-50, 09.3
- (2 報告) Microbiological survey of the stone chambers of Takamatsuzuka and Kitortumuli, Nara prefecture, Japan: a milestone in elucidating the cause of biodeterioration of mural paintings (Junta Sugiyama, Tomohiko Kiyuna, Kwang-Duek An, Yuka Nagatsuka, Yutaka Handa, Nozomi Tazato, Junko Hata-Tomita, Miyuki Nishijima, Tomomi Koide, Yukio Yaguchi, Rika Kigawa, Chie Sano and Sadatoshi Miura), "The 31st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property – Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures", pp.51-73, 09.3
- (3 論文) 二酸化炭素・酸化エチレン処理がジアゾタイプ複写物に及ぼす影響 (加藤雅人、木川りか、坪倉早智子、中山俊介) 『保存科学』48 pp.43-50 09.3
- (3 論文) Mycobiota of the Takamatsuzuka and Kitortumuli in Japan, focusing on the molecular phylogenetic diversity of *Fusarium* and *Trichoderma* (Tomohiko Kiyuna, Kwang-Deuk An, Rika Kigawa, Chie Sano, Sadatoshi Miura & Junta Sugiyama), "Mycoscience", Vol.49, pp.298-311, 08.10
- (3 論文) *Candida tumulicola* sp. nov. and *Candida takamatsuzukensis* sp. nov., novel yeast species assignable to the *Candida membranifaciens* clade, isolated from the stone chamber of the Takamatsuzuka tumulus (Yuka Nagatsuka, Tomohiko Kiyuna, Rika Kigawa, Chie Sano, Sadatoshi Miura, Junta Sugiyama), *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology* (2009), 59 :186-194
- (5 学会発表) 燻蒸剤等各種殺虫殺菌処理がタンパク質材質 (膠、絹など) に及ぼす影響の検討 (2) (木川りか、早川典子、Tom Strang、Gregory Young、木村広) 文化財保存修復学会第30回記念大会九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) 高松塚古墳発掘/石室解体作業に伴う取合部・断熱覆屋使用木材等の防カビ対策: DDACの検討と施工 (木川りか、間淵創、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 文化財保存修復学会第30回記念大会九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) Foxing が発生した紙資料からの真菌の分離および代謝物の蛍光に関する報告 (吉川也志保、木川りか) 文化財保存修復学会第30回記念大会九州国立博物館 08.5.17-18

- (5 学会発表) 高松塚・キトラ両古墳石室内壁画面に発生した“黒いしみ”の正体 (喜友名朝彦、安光得、木川りか、佐野千絵、三浦定俊、杉山純多) 日本菌学会 第52回日本菌学会年次大会 (三重) 08.5.30-6.1
- (5 学会発表) 高松塚古墳石室および石室解体作業中に採取された試料の菌類群集解析 (安光得、喜友名朝彦、富田 (畑) 順子、中村葵、下村謙悟、木川りか、佐野千絵、三浦定俊、杉山純多) 日本微生物生態学会第24回大会 (札幌) 08.11.25-28
- (5 学会発表) 高松塚古墳の石室解体中に採取された試料の細菌群集解析 (西島美由紀、富田順子、中村葵、下村謙悟、立里臨、半田豊、喜友名朝彦、木川りか、佐野千絵、三浦定俊、杉山純多) 日本微生物生態学会第24回大会 (札幌) 08.11.25-28
- (6 講演) 博物館、美術館、図書館のIPM 近年の動向、九州国立博物館「市民協同型IPM活動に関する研究会」九州国立博物館 08.8.23
- (6 講演) 害虫を入れない・増やさない—図書館における総合的有害生物管理 (IPM) 第19回保存フォーラム 国立国会図書館 08.9.11
- (6 講演) Conservation of the mural paintings in Takamatsuzuka and Kitora Tumuli in Japan (Takeshi Ishizaki and Rika Kigawa), Lascaux and preservation issues in a subterranean environment, Auditorium Colbert, Paris, 09.2.26-27
- (6 講義) 文化財害虫の防除対策 イラクの文化財専門家研修 文化遺産国際協力センター 東京文化財研究所 08.8.5
- (6 講義) 公文書館における有害生物管理 平成19年度公文書館専門職員養成課程 独立行政法人国立公文書館 08.11.21
- (7 委員会) 古墳壁画保存活用検討会ワーキンググループ委員、国立歴史民俗博物館資料保存環境検討委員会委員、文化財保存修復学会誌編集委員 (幹事)、文化財保存修復学会第30回大会プログラム委員 (7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本防菌防黴学会、The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、The Society for the Preservation of Natural History Collections (SPNHC)
- (8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学連携准教授、国立民族学博物館共同研究員

菊池理予 KIKUCHI Riyo (無形文化遺産部)

- (3 論文) 無形文化遺産としての工芸技術—染織分野を中心として— 『無形文化遺産研究報告』 3 pp.37-59 東京文化財研究所 09.3
- (5 学会発表) 黄緞と海気に関する歴史的研究 第23回国際服飾学術会議 飛騨・世界生活文化センター 飛騨芸術堂 (高山市) 09.8.21
- (5 発表) 無形文化遺産としての工芸技術—染織分野を中心として— 平成20年度第3回総合研究会 東京文化財研究所セミナー室 08.12
- (7 所属学会) 服飾文化学会、国際服飾学会、美術史学会

北野信彦 KITANO Nobuhiko (保存修復科学センター)

- (1 公刊図書) 文京区の遺跡からみた近世の食文化—江戸 (武家) と京 (公家) の比較から— 『博物館で見るぶんきょう食の文化展』 図録 pp.73-77 文京ふるさと歴史館 08.10
- (2 報告) 出土顔料の分析 『平安京左京四条三坊十二町跡』 pp.85-91 京都市埋蔵文化財研究所 08.6
- (2 報告) 出土ガラス製品の分析結果報告 『常盤仲之町遺跡・広隆寺旧境内』 pp.38-41 京都市埋蔵文化財研究所 08.9
- (2 報告) 出土瓦に付着した赤色顔料に関する分析調査 『平安京左京三条二坊十町跡』 pp.140-145

京都市埋蔵文化財研究所 09.3

(2 報告) 出土ガラス製品の理化学的分析(北野信彦、竜子正彦)『平安京左京三条二坊十町跡』 pp.146-156 京都市埋蔵文化財研究所 09.3

(2 報告) 宮内堀脇遺跡出土漆器の材質・技法に関する調査『宮内堀脇遺跡Ⅲ』 pp.139-154 兵庫県教育委員会 09.3

(2 報告) 釉薬瓦(石見瓦)の釉薬の理化学的分析『石州石見藩邸跡遺跡』 pp.51-59 港区教育委員会 09.3

(2 報告) 旧片山家住宅の外観塗装材料に関する調査『旧片山家住宅修理報告書』 pp.60-72 高梁市教育委員会 09.3

(2 報告) 桃山文化期における輸入漆塗料の流通と使用に関する調査(Ⅱ)(北野信彦、小檜山一良、木下保明、竜子正彦、本多貴之、宮腰哲雄)『保存科学』48 pp.133-146 09.3

(3 論文) 三十三間堂の外観塗装材料である赤色顔料に関する調査(北野信彦、窪寺茂)『保存科学』48 pp.61-74 09.3

(3 論文) 海龍王寺五重小塔の外観塗装材料に関する調査(北野信彦、窪寺茂)『元興寺文化財研究所研究報告』2008 pp.1-11 09.3

(5 学会発表) 明治期修理における建築塗装の一方法(北野信彦、窪寺茂) 文化財保存修復学会第30回記念大会 太宰府市中央公民館・九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) 日本における各種ベンガラ顔料の生産と使用—最近の調査事例から— 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.15

(6 発表) 劣化と保存(各論) 一漆工品— 平成20年度保存担当学芸員研修 東京文化財研究所 08.7.25

(6 講演) 和食器の歴史 平成20年度岡山県高等学校家庭科教員夏季研修会 くらしき作陽大学 08.8.20

(6 発表) 桃山文化期における輸入漆塗料の流通と使用 第2回伝統的修復材料および合成樹脂に関する研究会『漆を通じてみた日本と海外との交流』 東京文化財研究所 08.11.27

(6 講演) 文京区の遺跡からみた近世の食文化—江戸と京の比較から— 博物館で見るぶんぎょうの食の文化展記念講演会 文京区男女平等センター 08.11.30

(6 発表) 桃山文化期における漆塗料の流通と使用 平成20年度第5回総合研究会 東京文化財研究所 09.2.3

(6 講演) 文化財修復における漆利用の現状と課題 地方の元気再生事業で実施する漆産業振興に係わるワークショップ(二戸市開催) 京都市勧業館「みやこめっせ」 08.2.27

(7 所属学会) 日本文化財科学会、文化財保存修復学会、日本考古学協会、日本民具学会

(7 委員会) 古墳壁画保存活用検討会保存技術ワーキンググループ専門委員、松浦市鷹島海底遺跡調査指導委員会保存処理専門部会委員、京都市埋蔵文化財研究所客員指導研究員

(8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻連携准教授、龍谷大学文学部非常勤講師

朽津信明 KUCHITSU Nobuaki (文化遺産国際協力センター)

(2 報告) 趣旨説明—水と付き合う遺跡保存— 『第22回国際文化財保存修復研究会報告書』 pp.7-10 08.12

(2 報告) 善悪二元論からの脱却 『第22回国際文化財保存修復研究会報告書』 pp.100-101 08.12

(2 報告) インドネシアにおける遺跡のモニタリングに関する視察 『インドネシアパロブドゥール遺跡保存研究所との共同研究 平成21年度成果報告書』 pp.78-79 09.3

(2 報告) 石塔で認められる彩色表現について 『日韓共同研究報告書2008』 pp.15-26 08.11

(2 報告) History and present conditions of collaboration between Japan and Thailand『Conser-

- vation of monuments in Thailand』4 pp.7-11 08.12
- (3 論文) Effect and problems of hydrophobic treatment of monuments for conservation (Nobuaki Kuchitsu and Yoko Futagami) 『Conservation of monuments in Thailand』4 pp.71-81 08.12
- (3 論文) いわゆる「宋風獅子」の岩質について 『考古学と自然科学』58 pp.1-11 09.1
- (3 論文) 飯田市・文永寺石室五輪塔における蘚苔類の繁茂について (朽津信明、二神葉子) 『保存科学』47 pp.33-42 09.3
- (4 コラム) 700年目の恩返し—応用地質学の文化財への貢献— 『応用地質』49 pp.42-43 08.4
- (5 学会発表) 東大寺石獅子の非破壊調査 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17
- (5 学会発表) 土色計を用いた装飾古墳彩色の見えの研究 (朽津信明、池田朋生) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.18
- (5 学会発表) 飯田市・文永寺石室五輪塔における蘚苔類の繁茂について (朽津信明、二神葉子) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15
- (5 学会発表) ステレオ移動撮影による簡易形状計測手法を用いた泉崎横穴のデジタル化 (朽津信明、運天弘樹、三橋徹) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15
- (5 学会発表) 三次元計測を用いた装飾古墳製作工程の研究 (池田朋生、朽津信明、増田智仁、森本哲郎、池内克史、林田和人、前田真由子) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15
- (5 学会発表) タ・ネイ遺跡の石材表面に付着する地衣類と基物への菌糸の陥入 (文光喜、二神葉子、朽津信明、柏谷博之) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14
- (5 学会発表) 東大寺石獅子に関するコメント 東大寺石獅子をめぐる研究集会 奈良市男女共同参画センターあすなら 08.8.9
- (5 学会発表) History and present conditions of collaboration between Japan and Thailand, Conservation of monuments in Thailand, Thai National Gallery, 08.9.4.
- (5 学会発表) Effect and problems of hydrophobic treatment of monuments for conservation (Nobuaki Kuchitsu and Yoko Futagami), Conservation of monuments in Thailand, Thai National Gallery, 09.5.
- (5 学会発表) 水と付き合う遺跡保存 第22回国際文化財保存修復研究会 東京文化財研究所 08.9.19
- (5 学会発表) 表面に微生物が繁茂した石材の表面風化状況について 日本応用地質学会平成20年度研究発表会 横浜市開港記念会館 08.10.30-31
- (5 学会発表) 石塔で認められる彩色表現について 日韓共同研究・2008年度研究報告会 韓国国立文化財研究所 08.11.6
- (5 学会発表) Restoration and conservation of immovable heritage damaged by natural disasters, Expert meeting on the conservation of heritage in Asia and the Pacific, Siam City Hotel Bangkok, 09.1.14.
- (5 学会発表) 石材の風化とその計測法 平成20年度遺跡整備・保存修復科学合同研究集会 奈良文化財研究所 09.1.31
- (5 学会発表) Monitoring of the Fugoppe Cave, Japan, Seminar on the monitoring of historic sites, Borobudur Heritage Conservation Institute, 09.2.10.
- (6 講演) 中世の大宰府博多を科学でみる 文化財保存修復学会市民アカデミー 九州国立博物館 08.5.16
- (6 講演) 石材の鑑定に関するコメント 中世石造物研究会 加古川市公民館 08.6.21
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、国際文化財保存学会、日本文化財科学会、日本地質学会、日本応用地質学会、日本地形学連合

佐野千絵 SANO Chie (保存修復科学センター)

(2 報告) 「殺虫/殺菌処理、防虫剤などについての緊急アンケート」調査結果について (木川りか、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』48 pp.233-240 09.3

(2 報告) 展示公開施設の館内環境調査報告—平成19年度— (吉田直人、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』48 pp.241-246 09.3

(2 報告) 国宝高松塚古墳壁画修理作業室の一般公開時における環境測定 (犬塚将英、佐野千絵、木川りか、石崎武志、建石徹) 『保存科学』48 pp.153-158 09.3

(2 報告) 現地保存される古墳・遺構等における土壌及び石材に対する殺菌消毒剤の効果について (間淵創、佐野千絵) 『保存科学』48 pp.183-198 09.3

(2 報告) Rika Kigawa, Chie Sano, Takeshi Ishizaki, Sadatoshi Miura and Junta Sugiyama: Microbiological survey of the stone chambers of Takamatsuzuka and Kitora tumuli, Nara Prefecture, Japan: a milestone in elucidating the cause of biodeterioration of mural paintings, "The 31st International Symposium on The Conservation and Restoration of Cultural Property— Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures", pp.43-50 東京文化財研究所 09.3

(2 報告) Junta Sugiyama, Tomohiko Kiyuna, Kwang-Deuk An, Yuka Nagatsuka, Yutaka Handa, Nozomi Tazato, Junko Hata-Tomita, Miyuki Nishijima, Tomomi Koide, Yukio Yaguchi, Rika Kigawa, Chie Sano, and Sadatoshi Miura: Takamatsuzuka and Kitora Tumuli: Biological issues in the conservation of mural paintings of Takamatsuzuka and Kitora tumuli in Japan, "The 31st International Symposium on The Conservation and Restoration of Cultural Property— Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures", pp.51-74 東京文化財研究所 09.3

(3 論文) 国宝高松塚古墳壁画の材料調査の変遷 (佐野千絵、早川泰弘、三浦定俊) 『保存科学』48 pp.119-132 09.3

(3 論文) キトラ古墳保護覆屋内の環境について (4) —周辺風環境の解析および覆屋内環境監視— (森井順之、犬塚将英、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』48 pp.159-166 09.3

(3 論文) 古墳等の高湿度作業環境下での使用を想定した木材保存剤のかび抵抗性試験とTVOC測定 (間淵創、佐野千絵、木川りか) 『保存科学』48 pp.175-182 09.3

(3 論文) ポーラ美術館における室内空気清浄化のための火山ガスの調査 (呂俊民、佐野千絵、内呂博之、荒屋鋪透) 『保存科学』48 pp.13-20 09.3

(3 論文) *Candida tumulicola* sp. nov. and *Candida takamatsuzukensis* sp. nov., novel yeast species assignable to the *Candida membranifaciens* clade, isolated from the stone chamber of the Takamatsuzuka tumulus (Yuka Nagatsuka, Tomohiko Kiyuna, Rika Kigawa, Chie Sano, Sadatoshi Miura and Junta Sugiyama), *International Journal of Systematic and Evolutionary Microbiology* (2009), 59 :186-194

(3 論文) Mycobiota of the Takamatsuzuka and Kitora Tumuli in Japan, focusing on the molecular phylogenetic diversity of *Fusarium* and *Trichoderma* (Tomohiko Kiyuna, Kwang-Deuk An, Rika Kigawa, Chie Sano, Sadatoshi Miura and Junta Sugiyama), *Mycoscience* (2008), 49:298-311

(4 解説) マイクロフィルムの保存と収蔵庫内の空気清浄について 東京大学経済学部資料室年報 pp.81-93 09.3

(5 学会発表) ポーラ美術館における作品素材を用いた環境モニタリング (呂俊民、天野健太郎、内呂博之、荒屋鋪透、佐野千絵) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) 展示・保存環境の酸性雰囲気改善のための研究 (呂俊民、瀬古繁喜、石黒武、佐野千絵)

文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18
 (5 学会発表) 古墳壁画保存管理における室内大気分析の有効性と限界 (佐野千絵、間淵創、三浦定俊)
 文化財保存修復学会第30回大会 九州国立博物館 08.5.17-18
 (5 学会発表) 福岡市美術館におけるIPMにもとづく文化財害虫の対策—とくにヤマトシミを対象として— (三谷理華、佐野千絵、渡邊雄二) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館
 08.5.17-18
 (5 学会発表) 高松塚古墳・キトラ古墳壁画の生物劣化に係わる微生物について—石室内菌類相の変化と主要な菌類の正体— (佐野千絵、木川りか、三浦定俊、喜友名朝彦、安光得、杉山純多) 日本文化財科学会第25回大会 (鹿児島) 2008.6.14-15
 (5 学会発表) 美術館立地環境の金属試験片を用いた調査—建設計画時のモニタリング— (佐野千絵、呂俊民) 第49回大気環境学会年会 金沢大学 08.9.17-19
 (5 学会発表) 美術館・博物館における空気環境の最適化に関する研究 その1 展示・収蔵環境の空気質の解析 (呂俊民、瀬古繁喜、石黒武、佐野千絵) 日本建築学会大会 広島大学 08.9.18-20
 (5 学会発表) Analysis for Preservation of Historical Remains on Paper in Japan (Yashiho Kikkawa and Chie Sano) IIC Congress 2008, (London), 08.9.16-21
 (5 学会発表) 美術館におけるアンモニア汚染と対策 (呂俊民、佐野千絵、内呂博之、瀬古繁喜、天野健太郎) 室内環境学会大会 タワーホール船堀 08.12.1-2
 (5 学会発表) 微生物繁殖状況モニタリングとしての室内大気分析の有効性 (佐野千絵、間淵創) 室内環境学会2008年度大会 (東京) 08.12.1-2
 (5 学会発表) 高松塚・キトラ両古墳石室内壁画面に発生した“黒いしみ”の正体 (喜友名朝彦、安光得、木川りか、佐野千絵、三浦定俊、杉山純多) 日本菌学会第52回大会 三重大学 08.5.30-6.1
 (5 学会発表) 高松塚古墳石室および石室解体作業中に採取された試料の菌類群集解析 (安光得、喜友名朝彦、富田 (畑) 順子、中村葵、下村謙悟、木川りか、佐野千絵、三浦定俊、杉山純多) 日本微生物学会第24回大会 北海道大学 08.11.25-28
 (5 学会発表) 高松塚古墳の石室解体中に採取された試料の細菌群集解析 (西島美由紀、富田順子、中村葵、下村謙悟、立里臨、半田豊、喜友名朝彦、木川りか、佐野千絵、三浦定俊、杉山純多) 日本微生物生態学会第24回大会 北海道大学 08.11.25-28
 (6 講演) 「カビ対策マニュアル」作成協力者会議 (文部科学省大臣官房政策課所管) を終えて—「カビ対策マニュアル」の目指すもの— フォローアップ研修 東京文化財研究所 08.6.20
 (6 講演) 文化財保存の科学 企画展示セミナー 08.6.30、08.11.10
 (6 講演) 文化財のカビ被害防止のための調査と日常管理 文化財虫害研究所 08.7.18
 (6 講演) 汚染物質の性状とその影響 中級研修—博物館・美術館等の空気環境最適化のための基礎と実践— 東京文化財研究所 08.12.15
 (6 講演) 放射線と文化財 原子力体験セミナー社会コースII 独立行政法人原子力機構原子力科学研究所 08.8.19
 (6 講演) 山内家資料の保存環境に関する検討、第二回山内家資料の保存等検討委員会、山内会館 09.2.5
 (7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本化学会、高分子学会、照明学会、室内環境学会、大気環境学会、繊維学会、マテリアルライフ学会、漆を科学する会、The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC)、International Council of Museums (ICOM)、IIC-Japan (庶務幹事)
 (7 委員会) 群馬県文化財保護審議会委員、千葉県文化財保護審議会委員、埼玉県立歴史と民俗の博物館評議会委員、古墳壁画保存活用検討会保存技術ワーキンググループ委員、(財)文化財虫害研究所文化財虫菌害防除薬剤等認定委員会委員、(財)文化財虫害研究所運営委員会委員、(財)国際高等研究所

研究プロジェクト委員、日本学術振興会科学研究費委員会専門委員、山内家資料保存等検討委員会委員
(8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学連携教授

皿井舞 SARAI Mai (企画情報部)

(4 翻訳) シェリー・ファウラー「燈明寺(東明寺)「六」観音像をさぐる」発表要旨 『第32回文化財の保存と修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために—」予稿集』 p.32 08.12

(6 発表) 「国風文化論」再考のための試論 企画情報部研究会 東京文化財研究所 08.5.28

(6 発表) 仏像の修理修復—サンフランシスコアジア美術館の脱活乾漆像をめぐる— 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために」 東京国立博物館 08.12.7

(7 所属学会) 美学会、美術史学会、密教図像学会

(8 教育) 愛知県立大学非常勤講師、京都造形芸術大学大学院非常勤講師

塩谷純 SHIOYA Jun (企画情報部)

(3 論文) 山内多門—雅邦を継ぐ者 都城市立美術館『山内多門 生誕130年展』図録 pp.6-10 08.10

(3 論文) 菊池容斎—雅俗を越えて 辻惟雄編『激動期の美術 幕末・明治の画家たち[続]』 pp.33-60 08.10

(4 解説) 理想を求めて、芳崖を見出したフェノロサ 『別冊太陽』154 pp.26-27 p.29 08.8

(4 解説) 黒田清輝《自画像(トルコ帽)》《画室の一隅》《編物》作品解説 東京国立博物館『黒田清輝のフランス留学』特集陳列図録 pp.6-8 09.3

(4 解説) 多武峯維摩会本尊図(キンベル美術館蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業修理報告書平成19年度(絵画/工芸品)』 p.66 東京文化財研究所 09.3

(6 講演) 日本画、近代の潮流と山内多門 都城市コミュニティセンター 08.10.18

(6 発表) 青邨・GUTAI・福田美蘭—国際シンポに向けて 企画情報部研究会 東京文化財研究所 08.11.12

(6 基調講演) モノより思い出、思い出よりモノ 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために」 東京国立博物館 08.12.6

(6 講演) 大観と未醒/放菴—日本美術院再興の周辺 出光美術館 09.3.4

(7 所属学会) 美術史学会、明治美術学会

(8 教育) 明治学院大学大学院非常勤講師

島津美子 SHIMADZU Yoshiko (特別研究員)

(5 学会発表) The effects of lead and zinc white saponification on surface appearance of paint (Y. Shimadzu, K. Keune, J. J. Boon, J. H. Townsend, and K. J. van den Berg), 15th Triennial Meeting of the ICOM Committee for Conservation, New Delhi, India, 08.09.22-26.

(6 研究会発表) ソグド壁画の彩色材料: タジキスタン国立古物博物館の資料から International Workshop on History of Color in Asia, アジアの彩色材料の歴史を文化財に残る具体的な資料の分析を通して探る 古典籍デジタルアーカイブ研究センター 2008年度研究集会 龍谷大学 09.03.19

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、International Council of Museums-Committee for Conservation (ICOM-CC)、International Institute for Conservation of Historic and Artistic Works (IIC)

清水真一 SHIMIZU Shin'ichi (文化遺産国際協力センター)

(1 公刊図書等) 修復技術者 『歴史と地理』 622 pp.40-47 09.3

(1 公刊図書等) 正倉院の建築と機能 奈良国立博物館編『正倉院宝物に学ぶ』 pp.310-326 思文閣出版 08.10

(2 報告) 文化財建造物の構造補強とオーセンティシティー 『文化財建造物等の地震対策に関する日中専門家ワークショップ報告書』 pp.65-69 東京文化財研究所 09.3

(2 報告) 日本における文化財建造物の保護制度と修復体制 『報告書 日本およびモンゴルの文化財保護に関するワークショップ』 pp.55-56 東京文化財研究所 09.3

(6 講演) 世界遺産保全のセーフガード政策：文化遺産保護と開発 世界遺産と開発、貧困削減に向けた開発協力 ユネスコ世界遺産センター・国際協力銀行共催 国連大学 (UNU) ウ・タント国際会議場 08.8.29

(6 講演) アジアの遺産保護に向けての日本の取り組み 第6回東アジア中央アジア歴史都市会議 日本建築学会主催 建築会館 08.11.09

(6 講演) 文化遺産国際協力への日本の取り組み 私の文化遺産再発見—文化遺産を通じて国際貢献を推進するシンポジウム— 文化庁・文化遺産国際協力コンソーシアム・朝日新聞主催 東京国際フォーラム 09.1.18

(6 講演) Conservation of Cultural Heritage and preventive measures against natural disasters —learning from the Hanshin-Awaji Great Earthquake—, Expert Meeting on Cultural Heritage in Asia and the Pacific “Restoration and Conservation of immovable heritage damaged by natural disasters”, Siam City Hotel, Bangkok, Thailand, 09.1.14-16

(7 所属学会等) 日本建築学会、建築史学会、ICOMOS、文化遺産を未来につなぐ森づくりに関する有識者会議

(7 委員会) 鳥根県文化財保護審議会委員、平泉の文化遺産登録推薦書作成委員会委員、平泉遺跡群調査整備指導委員会委員、石川県文化遺産学術調査委員会委員、塩尻市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員、史跡下野国分寺跡保存整備委員会委員、文化財建造物木工技能者研修認定審査委員会委員、文化財建造物修理工事報告書等顕彰審査委員、国指定史跡円覚寺跡復元整備委員会調査嘱託員

白石靖幸 SHIRAISHI Yasuyuki (客員研究員)

(5 学会発表) DSF (ダブルスキンファサード) を有する事務所ビルの自然換気性能評価 第一報 中間期における室内及びDSF内の換気性状の実測結果 (井上大嗣、白石靖幸、伊藤一秀、小林晋、丸山純) 日本建築学会大会 広島大学 08.8.18-20

(5 学会発表) DSF (ダブルスキンファサード) を有する事務所ビルの自然換気性能評価 第二報 CFD解析による室内及びDSF内の換気性状の評価、風向依存性の検討 (門司宣大、井上大嗣、白石靖幸、伊藤一秀、小林晋、丸山純) 日本建築学会大会 広島大学 08.8.18-20

(5 学会発表) 事務所ビルの空調システムの制御と診断に関する研究 その1 実験による熱的混合損失・利得量の推定と評価 (金田信二、相楽典泰、白石靖幸、前原勝樹、王准) 日本建築学会大会 広島大学 08.8.18-20

(5 学会発表) 事務所ビルの空調システムの制御と診断に関する研究 (その2) CFD解析による温熱・空気環境評価と影響因子の寄与率の算出 (伊東由衣、白石靖幸、相楽典泰) 日本建築学会大会 広島大学 08.8.18-20

(5 学会発表) 事務所ビルの空調システムの制御と診断に関する研究 その3 CFDとHVACSIM+(J)との連成解析による基礎的検討 (飯田玲香、白石靖幸、相楽典泰) 日本建築学会大会 広島大学 08.8.18-20

(5 学会発表) 事務所ビルの空調システムの制御と診断に関する研究 (その1) 実験による熱的混合損

失・利得量の推定と評価（金田信二、相楽典泰、白石靖幸、前原勝樹、王准） 空気調和・衛生工学会大会
立命館大学 08.8.27-29

(5 学会発表) 事務所ビルの空調システムの制御と診断に関する研究（第2報）CFD解析による温熱・
空気環境評価と空調不具合検知手法の検討（伊東由衣、飯田玲香、白石靖幸、相楽典泰） 空気調和・
衛生工学会大会 立命館大学 08.8.27-29

(5 学会発表) 事務所ビルの空調システムの制御と診断に関する研究（第3報）CFDとHVACSIM+
(J)との連成解析による検討（飯田玲香、伊東由衣、白石靖幸、相楽典泰） 空気調和・衛生工学会大会
立命館大学 08.8.27-29

(5 学会発表) Passive Environmental Control Methods for District and Building Scales on Take-
tomi Island (Daishi Inoue, Yasuyuki Shiraishi), The 25th Conference on Passive and Low En-
ergy Architecture (PLEA2008), Dublin Ireland, 08.10.22-24

(5 学会発表) Characteristics of Air-conditioning Heat Load of a Large Space Building under
Constant PMV Condition —Comparison of Occupied Zone Air-conditioning System and Spot
Air-conditioning System— (Yui Ito, Noboru Sakuragi, Yasuyuki Shiraishi), The Yellow Sea
Rim International Exchange Meeting on Building Environment and Energy 2009(YSRIM2009),
Kumamoto, Japan, 09.1.29-30

(5 学会発表) HVAC Design and Commissioning Tool Based on Coupled Simulation of HVAC-
SIM + (J) and CFD Analysis (Reika IIDA, Yui ITO, Yasuyuki SHIRAISHI, Noriyasu SAGARA),
The Yellow Sea Rim International Exchange Meeting on Building Environment and Energy
2009(YSRIM2009), Kumamoto, Japan, 09.1.29-30

(6 発表) 建物の総合環境性能評価ツールとは？平成20年度第2回市民公開シンポジウム（福岡）建
物の環境性能評価ツールとその利活用—評価ツールの現状と今後の展開—（社）空気調和・衛生工学
会九州支部 08.12.5

(7 所属学会) 日本建築学会、空気調和・衛生工学会、太陽エネルギー学会、風工学会

(8 教育) 北九州市立大学国際環境工学部准教授、東京大学生産技術研究所研究員、早稲田大学理工学
総合研究センター客員研究員

城野誠治 SHIRONO Seiji（企画情報部）

(3 論文) 2007年の写真の進歩 文化財『日本写真学会誌』71-3 p.150 08.6

(3 論文) 謎解きが始まるうとしている 新たな歴史を刻む発見『別冊太陽 平等院王朝の美 国宝鳳
凰堂の仏後壁』 pp.14-18 平凡社 09.2

(3 論文) 文化財を捉える撮影の方法とその特殊性 多様な文化財にいかに対応するか『別冊太陽 平
等院王朝の美 国宝鳳凰堂の仏後壁』 pp.82-83 平凡社 09.2

(3 論文) 科学写真撮影法による国宝「源氏物語絵巻」の調査『国宝 源氏物語絵巻』 pp.324-326
中央公論美術出版 09.2

(3 論文) 書譜の検証における光学調査法について『孫過庭書譜光学撮影検測報告』 pp.126-148 国
立故宮博物院・東京文化財研究所 08.10

(4 画像形成)『平等院鳳凰堂 仏後壁 調査資料目録 —カラー画像編—』 東京文化財研究所 08.12

(4 画像形成) 特集陳列 写された黒田清輝Ⅱ 東京国立博物館・黒田記念館2階展示室 09.3.19-7.9

(4 画像形成) 孫過庭書譜光学撮影検測報告 国立故宮博物院・東京文化財研究所 08.10

(7 所属学会) 日本法科学技術学会、日本写真家協会、日本写真学会

(8 教育) 愛知教育大学非常勤講師、東京藝術大学非常勤講師

鈴木環 SUZUKI Tamaki (特別研究員)

- (2 報告) バルカン半島の中世教会建築-ビザンチンからポスト・ビザンチン時代への様式移行 『地中海月報』 316 p.7 09.3
- (3 論文) ルーマニア・モルドヴァ地方の中世教会建築における天井架構の変遷～聖堂各室の形式と、用いられるドーム架構との関連性について (鈴木環、中村寛) 『2008年度日本建築学会関東支部・研究報告集』 pp.365-368 09.1
- (6 講演会発表) バルカン半島の中世教会建築-ビザンチンからポスト・ビザンチン時代への様式移行 地中海学会月例研究会 東京大学 08.10.4
- (7 所属学会) 日本建築学会、地中海学会、日本ビザンツ学会、ICOMOS

鈴木規夫 SUZUKI Norio (所長)

- (2 報告) 日本における美術工芸品類の保護施策 日本およびモンゴルの文化財保護に関するワークショップ モンゴル教育文化科学省 08.9.10
- (2 報告) 日本における美術工芸品類の保護施策『報告書 日本およびモンゴルの文化財保護に関するワークショップ』 pp.27-33 東京文化財研究所文化遺産国際協力センター 09.3
- (4 解説) 明治の七宝 『近代工芸の華—明治の七宝—』展図録 pp.1-2 (財) 佐野美術館 08.5
- (6 講話) 文化財保護と我々の“しごと” 独立行政法人国立文化財機構平成20年度新任職員研修会 東京文化財研究所 08.7.14
- (6 講演会) 法隆寺伝来の螺鈿 秋季法隆寺文化講演会 法隆寺聖徳会館 08.11.3
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、漆工史学会
- (7 委員会等) 国・文化審議会専門委員 (文化財分科会第一専門調査会工芸品委員会)、東京藝術大学修復検討委員会委員、山梨県文化財保護審議会 (有形文化財分科会)、(財) 文化財保護・芸術研究助成財団事業委員会委員、(財) ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所文化遺産保護協力事業運営審議会委員、(財) 日本博物館協会評議員、(独) 国立文化財機構監修「日本の美術」編集委員会委員
- (8 教育) 東京藝術大学非常勤講師 (日本工芸史概説)・客員教授 (称号授与)

高桑いづみ TAKAKUWA Izumi (無形文化遺産部)

- (3 論文) X線透過撮影による能管・龍笛の構造解明 『無形文化遺産部研究報告』 3 pp.1-20 09.3
- (3 評論) 「ベルナルダ・アルバの家」を見て『能楽タイムス』 684 p.6 09.3
- (5 学会発表) X線調査から判明した能管・龍笛の制法 東洋音楽学会第59回大会 武蔵野音楽大学江古田校舎 08.11.16
- (6 講演) 能島村上家伝来横笛の歴史的意義 瀬戸内しまなみ大学「水軍講座」 村上水軍博物館 08.12.14
- (6 講演) 明治・大正・昭和の名人たち 第3回無形文化遺産部公開学術講座 国立能楽堂大講義室 08.12.16
- (7 所属学会) 東洋音楽学会 (理事) 能楽学会 楽劇学会 (理事)
- (8 テレビ解説) 曲目解説「井筒」 NHK教育テレビ 08.11.11
- (8 ラジオ出演) 能の音楽 NHKFM放送 08.8.3, 10, 17, 24, 31
- (8 教育) 国立歴史民俗博物館客員教授、東京藝術大学非常勤講師

高林弘実 TAKABAYASHI Hiromi (客員研究員)

- (2 報告書) 『敦煌壁画の保護に関する日中共同研究』 東京文化財研究所 09.3
- (3 論文) 彩色材料の材質分析に基づく敦煌莫高窟第二八五窟における復原的考察 (高林弘実、蘇伯民)

『佛教藝術』298 pp.43-61 08.5

(3 論文) 敦煌莫高窟第285窟北壁壁画に描かれた如来や菩薩の衣の彩色技法 (佐藤香子、高林弘実、梶井基光、岡田健、范宇権、張文元) 『保存科学』48 pp.75-84 09.3

(3 論文) 敦煌莫高窟第285窟南壁龕楣の彩色材料および技法 (高林弘実、倉橋恵美、范宇権、崔強) 『保存科学』48 pp.85-98 09.3

(5 学会発表) 敦煌莫高窟第285窟壁画に使用された彩色材料の非破壊分析 (高林弘実、小瀬戸恵美、范宇権) 文化財修復学会第30回記念大会 太宰府市中央区公民館 08.5.17

(5 学会発表) 敦煌莫高窟初期窟の放射性炭素年代 (高林弘実、中村俊夫、郭青林、岡田健) 文化財科学会25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-6.15

(5 学会発表) 環境と石窟劣化に関する研究 (中国語) (岡田健、高林弘実、宇野朋子) 古遺址保護国際学術討論会 敦煌研究院 (中国) 08.9.24

(6 発表) 敦煌莫高窟第285窟日中共同研究調査の成果から—文化財研究の可能性— (岡田健、高林弘実) 中国絵画研究会 (研究代表: 曾布川寛) ワークショップ「中国石窟寺院と石経」 京都大学人文科学研究所 08.11.29

(6 発表) 敦煌壁画を見る—敦煌莫高窟第285窟日中共同研究調査の成果から— (岡田健、高林弘実) 科学研究費補助金 基盤研究 (A)「奈良時代の仏教美術と東アジアの文化交流」 (研究代表: 湯山賢一) 研究会 奈良国立博物館 09.3.9

(6 発表) 敦煌莫高窟第285窟壁画に使用された彩色材料 International Workshop on History of Color in Asia アジアの彩色材料の歴史を文化財に残る具体的な資料の分析を通して探る 古典籍デジタルアーカイブ研究センター 2008年度研究集会 龍谷大学 09.3.19

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、文化財科学会

(8 教育) 東京学芸大学教育学部非常勤講師、東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻非常勤講師、多摩美術大学美術学部非常勤講師、玉川大学通信教育部非常勤講師

田代亜紀子 TASHIRO Akiko (特別研究員)

(5 学会発表等) Changing Asian Cultural Landscape パネル討論 日本財団国際ワークショップ ガジャマダ大学 08.11.25

(6 講演) Cultural Heritage Management and Local Community 文化遺産教育戦略に資する国際連携の推進 上智大学アジア人材育成研究センター カンボジア 08.8.26

(7 所属学会) 東南アジア学会、東南アジア考古学会、環境社会学会、クメール学研究会

田中淳 TANAKA Atsushi (企画情報部)

(3 論文) 研究ノート 尾高鮮之助と岸田劉生 『美術研究』395 pp.57-84 08.5

(3 論文) 都市生活と画家—木村荘八の東京 『美術フォーラム21』18 pp.78-81 08.10

(4 解説) 図版解説 萬鉄五郎《軽業師》および《太陽と道》 『美術研究』397 pp.79-97 08.3

(6 講演) 美術研究所草創期の研究者たち—田中喜作、尾高鮮之助を中心に 筑波大学 08.6.19

(6 発表) 有島生馬とフォトグラファー—田中敏男 企画情報部研究会 東京文化財研究所 08.7.23

(6 講演) 黒田清輝と小磯良平 神戸市立小磯記念美術館 08.7.27

(6 講演) 明治の洋画—黒田清輝を中心に 茨城県近代美術館 08.9.7

(6 講演) 写真のなかの芸術家たち—黒田清輝を中心に 東京文化財研究所オープンレクチャー 08.10.4

(6 講演) 日本の近代洋画のなかの黒田清輝 江東区森下文化センター 08.10.11

(6 講演) 青木繁の放浪 江東区森下文化センター 08.11.1

(6 シンポジウム司会) 総合討議 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「“オリジナル”

- の行方—文化財アーカイブ構築のために」 東京国立博物館 08.12.8
 (6 講演) 岸田劉生・萬鉄五郎・川上涼花の自然 江東区森下文化センター 08.12.13
 (6 講演) 古賀春江の遍歴 江東区森下文化センター 09.1.24
 (6 講演) 日本近代洋画について 茅ヶ崎市美術館 09.2.21
 (6 発表) 『日本美術年鑑』とカタログ アートドキュメンテーション学会 和光大学 09.3.20
 (7 所属学会) 美術史学会、明治美術学会
 (8 教育) 東京学芸大学非常勤講師

谷口陽子 TANIGUCHI Yoko (客員研究員)

- (2 報告) アフガニスタン・バーミヤーン仏教壁画に関する調査と成果 (谷口陽子、マリーン・コット、ジョイ・マズレック、山内和也) 『平成20年度考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』 pp.120-124 日本西アジア考古学会 09.3
 (3 論文) アジアにおける彩色材料と技法の研究 (前田耕作、谷口陽子) 『仏教芸術』298 pp.9-12 08.5
 (3 論文) バーミヤーン仏教壁画にみられる油彩技法について (谷口陽子、マリーン・コット) 『仏教芸術』298 pp.13-30 08.5
 (3 論文) Applications of synchrotron-based micro-imaging techniques to the chemical analysis of ancient paintings (Marine Cotte, Jean Susini, V. Armando Solé, Yoko Taniguchi, Javier Chillida, Emilie Checroune and Philippe Walter), Journal of Analytical Atomic Spectrometry 23, pp.820-828, 08.4.
 (3 論文) The painting techniques, materials and conservation of Bamiyan Buddhist mural paintings in Afghanistan (Yoko Taniguchi, Hidemi Otake, Marine Cotte, Emilie Checroun), ICOM-CC Triennial meeting Preprints (New Delhi 22-26 September 2008), pp.397-404, 08.9.
 (3 論文) Combination of FTIR and X-rays Synchrotron-based micro-imaging techniques for the study of ancient paintings. A practical point of view, (M. Cotte, E. Checroun, V. Mazell, V. A. Solé, P. Richardin, Y. Taniguchi, P. Walter, J. Susini), e-Preservation Science 6, pp.1-9, 09.2.
 (5 学会発表) バーミヤーン仏教壁画に見られる油彩技法に関する分析 (谷口陽子、マリーン・コット、ジョイ・マズレック) 文化財保存修復学会第30回記念大会 太宰府市中央公民館・九州国立博物館 08.5.17
 (5 学会発表) アフガニスタン流出仏教壁画片の調査と修復 (木島隆康、佐藤一郎、工藤晴也、増田久美、松浦美代子、谷口陽子、中右恵理子、靱井基充、鳥海秀実、宮田順一、酒井良次) 文化財保存修復学会第30回記念大会 太宰府市中央公民館・九州国立博物館 08.5.18
 (5 学会発表) The painting techniques, materials and conservation of Bamiyan Buddhist mural paintings in Afghanistan (Yoko Taniguchi, Hidemi Otake, Marine Cotte, Emilie Checroun), ICOM-CC Triennial meeting, New Delhi, 08.9.22
 (5 学会発表) シルクロード沿線地域における石窟壁画の技術 歴史人類学会第29回大会 歴史人類学会 筑波大学大塚キャンパス 08.11.8
 (6 発表) Progress of the conservation work of mural paintings and the 2008 training workplan for the Afghan officials, Expert Coordination Meeting for the Preservation of the Bamiyan Site, Munich, ICOMOS and UNESCO, 08.6.12
 (6 発表) アフガニスタン・バーミヤーン仏教壁画に関する調査と成果 (谷口陽子、マリーン・コット、ジョイ・マズレック、山内和也) 第16回西アジア発掘調査報告会 日本西アジア考古学会 池袋サンシャインシティ文化会館 09.3.15
 (6 発表) バーミヤーン仏教壁画の色と技術 International Workshop on History of Color in Asia :

アジアの彩色材料の歴史を文化財に残る具体的な資料の分析を通して探る 龍谷大学古典籍デジタルアーカイブ研究センター 2008年度研究集会 龍谷大学大宮キャンパス西翼 09.3.19

(6 講演) 世界遺産を探る—アジア編—: アフガニスタン・パーミヤーンの世界遺産 平成20年度茨城県弘道館アカデミー県民大学講座 茨城県県南生涯学習センター 08.12.11

(7 委員会) 水戸市史跡等整備検討専門委員

(7 所属学会) The International Institute for Conservation of Historic & Artistic Works (IIC), International Council of Museums (ICOM)、文化財保存修復学会、日本情報考古学会、歴史人類学会

(8 教育) 筑波大学大学院人文社会科学研究科助教

津田徹英 TSUDA Tetsuei (企画情報部)

(3 論文) 統一新羅時代の八大明王をめぐって 『韓国の浮彫形態の仏教集合尊像(四仏・五大明王・四天王・八部衆)に関する総合調査(課題番号16401005 平成16年度~平成18年度科学研究費補助金基盤研究(B) 海外学術研究 成果報告書)』 pp.377-394 08.4

(3 論文) 滋賀・錦織寺不動明王立像の周辺—不動明王彫像の額上髪にあらわれた花飾りへのまなざし— 『佛教藝術』 299 pp.53-87 08.7

(3 論文) 中世における聖なるかたちとしての童子形聖徳太子像とその機能 『日本における宗教テキストの諸位相と統辞法(名古屋大学グローバルCOEプログラム「テキストの布置の解釈学的研究と教育」第4回国際研究集会報告書)』 名古屋大学大学院文学研究科 pp.290-298 09.1

(4 史料紹介) 東寺観智院金剛蔵本(建武四年写) 『諸説不同記』 巻第四(下) 翻刻・校註・影印(岡田麻未・館敬子) 『史友』 41 pp.35-105 09.3

(4 書評) 大西磨希子 『西方浄土変の研究』 『美術研究』 397 pp.98-102 09.3

(4 解説) 源平合戦図屏風(オーストリア応用美術博物館蔵) 『2009年度在外日本古美術品保存修復プロジェクト・カレンダー基金』 文化財保護・芸術研究助成財団 08.12

(4 解説) 如来と菩薩 『歴史読本』 54-2 pp.117-137 09.2

(4 解説) 釈迦三尊十六善神像(オーストラリア国立美術館蔵) 『在外日本古美術品保存修復事業修理報告書平成20年度(絵画工芸)』 pp.92-93 東京文化財研究所 09.3

(4 寄稿) 鎌倉の親鸞と聖徳太子信仰 『親鸞に学ぶ会10年の学び』 親鸞に学ぶ会(横浜 永勝寺・成正寺・善了寺) pp.12-14 08.10

(5 学会発表等) 中世における聖なるかたちとしての童子形聖徳太子像とその機能 日本における宗教テキストの諸位相と統辞法(名古屋大学グローバルCOEプログラム「テキストの布置の解釈学的研究と教育」第4回国際研究集会) 名古屋大学 09.07.21

(5 学会発表等) 『諸説不同記』と「現図」胎蔵曼荼羅 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会“オリジナル”の行方 東京国立博物館 08.12.7

(6 研究会発表) 天平の脱活乾漆技法をめぐる二、三の問題 20年度第2回総合研究会 東京文化財研究所 08.9.2

(7 所属学会、委員等) 美術史学会常任委員(委嘱)、密教図像学会、日本宗教文化史学会、日本仏教総合研究学会

(8 教育) 青山学院大学非常勤講師

土屋貴裕 TSUCHIYA Takahiro (企画情報部)

(6 発表) 「天狗草紙」の作画工房—鎌倉南北朝期絵巻研究を捉えなおすために— 企画情報部研究会 08.6.27

(6 発表) 中世伊勢物語絵の系譜—伝土佐光信筆「伊勢物語画帖」の位置— 東京文化財研究所総合研

研究会 09.3.3

(7 所属学会) 美術史学会、仏教文学会、絵解き研究会、物語／絵画研究会

坪倉早智子 TSUBOKURA Sachiko (任期付研究員)

(2 報告) 紙の繊維組成分析のための基礎的知見 (坪倉早智子、加藤雅人) 『伝統的修復材料及び合成樹脂に関する調査研究報告書 2008年度』 p.50 (資料 pp.5-45) 東京文化財研究所 09.3

(2 報告) 「東京文化財研究所 保存修復資料室所蔵 資料目録」の作成について (その2) (早川典子、加藤雅人、坪倉早智子、菊池理予) 『伝統的修復材料及び合成樹脂に関する調査研究報告書 2008年度』 p.70 東京文化財研究所 09.3

(3 論文) 二酸化炭素処理・酸化エチレン処理がジアゾタイプ複写物に及ぼす影響 (加藤雅人、木川りか、坪倉早智子、中山俊介) 『保存科学』 48 pp.43-50 09.3

(5 学会発表) 劣化したシアノタイプの修復—紫外線によるシアノタイプの劣化・再発色実験— (坪倉早智子、加藤雅人、中山俊介、荒木臣紀) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(7 所属学会) 文化財保存修復学会

津村宏臣 TSUMURA Hiro'omi (客員研究員)

(1 公刊図書) 松木武彦、小澤佳憲、若林邦彦、安藤広道、溝口孝司、津村宏臣、山田康弘ほか共著 『集落から読む弥生社会—弥生時代の考古学8—』 同成社 08.9

(2 報告) 普賢寺の基壇を対象とした探査研究 (岸田徹、津村宏臣、若林邦彦、置田雅昭) 『同志社大学歴史資料館館報』 11 pp.29-32 08.10

(2 報告) 探査を用いた下司古墳群7号墳の調査 (岸田徹、津村宏臣、若林邦彦、中谷正和) 『同志社大学歴史資料館館報』 11 pp.33-36 08.10

(3 論文) GISを用いた弥生集団論—文化財情報から可視化される文化の実体と実態— 設楽博巳、藤尾慎一郎、松木武彦編 『集落から読む弥生社会』 pp.96-111 同成社 08.10

(3 論文) LRFとDGPSを用いた野外調査における地形測量:トルコ、ハジトゥール・テベ遺跡における適用事例 (早川裕一、津村宏臣) 『地形』 29-4 pp.421-434 08.10

(3 論文) Utilization of Laser Range Finder and Differential GPS for High-Resolution Topographic Measurement at Hacıtuğrul Tepe, Turkey. *Geoarchaeology: An International Journal*, Vol.24, No.2. pp.176-190, 09.2

(4 解説) 岩見編集長の炉端会談第14回 GISは人類史究明の鍵を握る 『GIS NEXT』 24 08.8

(5 学会発表) LRF, DGPSおよびGISをもちいたフィールド調査における地形データの取得 (早川裕一、津村宏臣) 地球惑星科学連合大会 08.05.28

(5 学会発表) 遺跡立地・分布に関する社会生態の数値シミュレーションアプローチ (津村宏臣、鎌倉快之、樋泉岳二) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.5.14

(5 学会発表) オマーン沿岸貝塚における人類生態史と発達地形の総合調査 (津村宏臣、樋泉岳二、早川裕一、堀出大介) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.5.14

(5 学会発表) 文化財総合情報システムSTISの開発と応用 (津村宏臣、鎌倉快之、澤田砂織、寺村裕史) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.5.15

(5 学会発表) 京都府普賢寺の基壇を対象とした探査研究 (岸田徹、津村宏臣、若林邦彦) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.5.15

(5 学会発表) 京都府下司古墳群7号墳における地中レーザ探査研究 (岸田徹、津村宏臣、辰巳和弘、中谷正和、辻井祐) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.5.15

(5 学会発表) 霍州内部方言拡散の数理解析 (沈力、津村宏臣) 中国語言学会第14届学術年会 温州大

学 08.8.28

(5 学会発表) 絵画や文化遺産の形状評価への展望と提案 日本情報考古学会第1回公開セミナー「形を測る」同志社大学 08.12.14

(5 学会発表) オマーン、ラス・ジブス貝塚(第3次調査)における遺物散布の空間構造 第16回西アジア発掘調査報告会(日本西アジア考古学会) 池袋サンシャインシティ文化会館 09.3.14

(6 講演会) 文化財デジタルアーカイブ『文化財建造物の保存—伝統技術と最先端技術の融合へ向けて(NPO法人京都文化財建造物研究所公開セミナー)』 08.10.19

(6 講演会) 3 DGISによる莫高窟アーカイブシステムの開発と応用(津村宏臣、岡田健)『敦煌研究院講演』 09.2.24

(7 所属学会・委員会) CAA、日本情報考古学会(理事・事務局長)、人文系データベース協議会(協議委員)日本文化財科学会、文化財保存修復学会、日本地理学会、考古学研究会、日本生態学会、地理情報システム学会、人文地理学会、日本西アジア考古学会ほか。NPO法人京都文化財建造物研究所(理事)

(8 教育) 同志社大学文化情報学部准教授、ロンドン大学考古学研究所PhD副教官、ポローニャ大学文学部卒業研究指導委員、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科講師、東京学芸大学自然科学系非常勤講師

友田正彦 TOMODA Masahiko (文化遺産国際協力センター)

(2 報告書) 煉瓦造建造物の構造補強、被災文化財修復現場視察の報告『四川震災復興に係る文化財協力(専門家交流)事業「文化財建造物等の地震対策に関する日中専門家ワークショップ」報告書』 pp.101-111、232-235 東京文化財研究所文化遺産国際協力センター 09.3

(2 報告書) “砖结构建筑的结构加固方法与实践”“受灾文物修复现场视察报告”『日本文化庁委托・四川震后重建文化遗产协力(专家交流)项目“中日文化遗产地震对策研讨会”报告书』 pp.97-107、216-219 東京文化財研究所文化遗产国际协力中心 09.3

(2 報告書)『タンロン皇城遺跡の保存に係る専門家派遣事業 報告書』 pp.3-7 東京文化財研究所 09.3

(6 講師) 日中韓シルクロード沿道土遺跡保存人材育成プログラムによる踏実一号大墓門闕修復の評価及び講習会「サムスン・シルクロード文化財保護フェローシップ」甘肅省瓜州県 08.10.20-21

(6 講演) 石造遺跡の保存管理—アンコール遺跡群の場合 日中共同唐陵石彫像保存事業学術研究会 陝西省西安市 08.11.18

(6 講演) 煉瓦造建造物の構造補強 文化財建造物等の地震対策に関する日中専門家ワークショップ 四川省成都市 09.2.10

(7 所属学会) 日本建築学会、ICOMOS

豊島久乃 TOYOSHIMA Hisano (特別研究員)

(2 報告)『文化遺産国際協力コンソーシアム「協力相手国調査(モンゴル)調査報告書」(豊島久乃、二神葉子、飯島満、包慕萍) 文化遺産国際協力コンソーシアム 09.3

(2 報告)『文化遺産国際協力コンソーシアム 協力相手国調査(モンゴル)ヘンティ県遺跡状況調査報告書』(豊島久乃、青木繁夫、松川節、山内和也、邊牟木尚美) 文化遺産国際協力コンソーシアム 09.3

(2 報告) 温泉津の水利システム(豊島久乃)『重要伝統的建造物群保存地区 大田市温泉津伝統的建造物群保存地区 保存対策調査報告書』大田市石見銀山課 pp.36-41 09.3

(2 報告) 東アジアの鉱山景観に関して(豊島久乃)『島根県石見銀山研究報告(1)(仮)』島根県教育委員会 09.3

- (4 編集)『文化遺産国際協力コンソーシアム 「協力相手国調査(モンゴル) 調査報告書』(豊島久乃、二神葉子) 文化遺産国際協力コンソーシアム 09.3
- (4 編集)『文化遺産国際協力コンソーシアム 協力相手国調査(モンゴル) ヘンティ県遺跡状況調査報告書』(豊島久乃) 文化遺産国際協力コンソーシアム 09.3
- (4 編集)『四川震災復興にかかる文化財協力(専門家交流)事業 「文化財建造物等の地震対策に関する日中専門家ワークショップ」 報告書』(岡田健、友田正彦、豊島久乃) 文化遺産国際協力センター 09.3
- (6 発表) Waters for Life; Evaluating and Managing Village Cultural Landscape Formed by Sustainable Utilization of Natural Water Environments —Case study in Shirakawa-go, World Heritage Site— 国際シンポジウム Conservation and Sustainable Development of Village Cultural Landscape 貴州省貴陽市貴州飯店 08.10.24-26
- (7 所属学会、委員会) 日本建築学会、ICOMOS、島根県石見銀山遺跡客員共同検討会客員研究員

鳥光美佳子 TORIMITSU Mikako (特別研究員)

- (4 画像形成)『平等院鳳凰堂 仏後壁 調査資料目録 —カラー画像編—』 東京文化財研究所 08.12
- (4 画像形成)特集陳列 写された黒田清輝Ⅱ 東京国立博物館 黒田記念館2階 展示室 09.3.19-7.9
- (4 画像形成)孫過庭書譜光学撮影検測報告 国立故宮博物院・東京文化財研究所 08.10
- (4 画像形成)満谷国四郎「自画像」、萬鉄五郎「軽業師」、「太陽と道」 『美術研究』397 09.3
- (7 所属学会) 画像電子学会

中右恵理子 NAKAU Eriko (客員研究員)

- (5 学会発表)アフガニスタン流出仏教壁画片の調査と修復(木島隆康、佐藤一郎、工藤晴也、増田久美、松浦美代子、谷口陽子、中右恵理子、粕井基充、鳥海秀美、宮田順一、酒井良次) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、明治美術研究会
- (8 教育) 東洋美術学校非常勤講師

長島宏行 NAGASHIMA Hiroyuki (客員研究員)

- (2 報告)Restoration of Aircrafts as Cultural Heritage 『Issues Surrounding the Conservation of Modern Heritage』 pp.16-27 東京文化財研究所 09.3
- (2 報告)文化財としての航空機保存 —九一式戦闘機を例として— 『未来につなぐ人類の技8 航空機遺産の保存と活用』 pp.23-40 東京文化財研究所 09.3

中野照男 NAKANO Teruo (副所長)

- (2 報告) 絵画目録『第二次調査(追録) 名主宮内清右衛門家の家録 —浮世絵・絵画・古銭—』 pp.11-29 09.1
- (3 論文)敦煌文書の真贋をめぐる覚書『日本美術史の杜 村重寧先生星山晋也先生古稀記念論文集』竹林舎 pp.460-472 08.9
- (6 発表)敦煌文書とアーカイブ(赤尾栄慶、マーク・バーナード、中野照男)第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会“オリジナル”の行方 —文化財アーカイブ構築のために— 東京文化財研究所 08.12.8
- (6 講演)四街道の文化財 平成20年度四街道市民大学講座 四街道市 08.10.11
- (7 所属学会) 美術史学会、九州藝術学会
- (8 教育等) 千葉県四街道市文化財審議委員、大東文化大学非常勤講師

中村明子 NAKAMURA Akiko (特別研究員)

- (4 編集) 『平等院鳳凰堂 仏後壁 調査資料目録 ーカラー画像編ー』 東京文化財研究所 08.12
- (4 執筆・構成) レンブラント (伝記、作品解説、アートトピック 1, 2 他) 『週刊西洋絵画の巨匠』 8 pp.2-15、20-41 小学館 09.3
- (7 所属学会) 美術史学会、イタリア学会、三田芸術学会

中山俊介 NAKAYAMA Shunsuke (保存修復科学センター)

- (2 報告) 航空機の保存・修復と活用 『未来につなぐ人類の技8 航空機遺産の保存と活用』 pp.5-13 東京文化財研究所 09.3
- (2 報告) On the Utilization of Railway Cultural Properties 『Utilization of Railway Cultural Properties』 pp.6-10 東京文化財研究所 09.3
- (2 報告) On the Operation of Tramcars and the Conservation of Cultural Properties 『Utilization of Railway Cultural Properties』 pp.42-48 東京文化財研究所 09.3
- (2 報告) Issues Surrounding the Conservation of Steel Vessels in Japan 『Issues Surrounding the Conservation of Modern Heritage』 pp.39-43 東京文化財研究所 09.3
- (3 論文) 近代化遺産の保存と活用 『シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第27回 講演資料集』 pp.1-14 中部産業遺産研究会 09.2
- (3 論文) 二酸化炭素処理・酸化エチレン処理がジアゾタイプ複写物に及ぼす影響 (加藤雅人、木川りか、坪倉早智子、中山俊介) 『保存科学』 48 pp.43-50 09.3
- (5 学会発表) 劣化したシアノタイプの修復ー紫外線によるシアノタイプの劣化・再発色実験ー (坪倉早智子、加藤雅人、中山俊介、荒木臣紀) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (6 発表) 近代文化遺産化遺産の保存と活用 シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第27回 産業技術記念館 09.2.28
- (6 発表) 鉄構造物の保存と修復 第22回近代の文化遺産の保存修復に関する研究会「鉄構造物の保存と修復について」 東京文化財研究所 08.11.7
- (6 講義) 土木史特論 平成20年度文化財建造物修理主任技術者講習会(上級コース) 京都市文化財建造物保存技術研修センター 08.8.26
- (7 所属学会) 日本船舶海洋工学会
- (7 委員会) 近代化遺産の修理等に係る指針策定に関する調査研究会委員、財団法人日本航空協会航空遺産継承基金専門委員会委員
- (8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻連携教授

西山伸一 NISHIYAMA Shin'ichi (客員研究員)

- (3 論文) (Kazuya YAMAUCHI and Shin'ichi NISHIYAMA) Archaeological Surveys in the Bolaghi Valley and its Vicinity. In A. Tsuneki and M. Zeidi (eds.), Al-Shark 3, University of Tsukuba, Studies for West Asian Archaeology, Tang-e Bolaghi, the Iran-Japan Archaeological Project for the Sivand Dam Salvage Area. 167-252. Iran Center for Archaeological Research and Department of Archaeology, University of Tsukuba, 08.
- (3 論文) 西アジア考古学の挑戦: その歴史と魅力 『サイバー大学紀要準備号』 pp.22-25 サイバー大学 08.7
- (3 論文) 遊牧民と帝国: パサルガダエ平原とアケメネス朝ペルシアの成立 『日本西アジア考古学会研究会発表資料集第8集: 移牧とその周辺』 pp.42-50 日本西アジア考古学会 09.3
- (5 学会発表) Iron Age Regional Transformation in the Amuq Plain and the Lower Orontes

Valley, 6th International Congress of Archaeology of Ancient Near East, 09.5.9

(5 学会発表) 北西シリア、テル・エル・ケルク 1 号丘遺跡の発掘調査 (常木晃、西山伸一、長谷川敦章)

(ポスター発表) 日本オリエント学会第50回大会 筑波大学 08.11.2

(6 発表) 遊牧民と帝国：パサルガダエ平原とアケメネス朝ペルシアの成立 日本西アジア考古学会研究会「定住世界とその周辺」 サンシャインシティー・ワールドインポートマー 5 階コンフェレンスルーム 08.5.12

(6 発表) アケメネス朝ペルシア帝国の大土木事業 2005, 2007年ボラーギー溪谷・パサルガダエ平原の考古学踏査 第35回栃木県オリエント協会セミナー 第二講 08.5.24

(7 所属学会) 日本オリエント学会、日本西アジア考古学会、British Association for Near Eastern Archaeology

(8 教育) サイバー大学世界遺産学部准教授

服部比呂美 HATTORI Hiromi (客員研究員)

(3 論文) 立物花火の技術伝承—愛知県新城市東新町「立物保存会」の事例から— 『無形文化遺産部研究報告』3 pp.103-133 09.3

早川典子 HAYAKAWA Noriko (保存修復科学センター)

(2 報告) 「東京文化財研究所 保存修復資料室所蔵 資料目録」の作成について(その2) (早川典子、加藤雅人、坪倉早智子、菊池理予) 『伝統的修復材料及び合成樹脂に関する調査研究報告書 2008年度』 p.70 東京文化財研究所 09.3

(5 学会発表) 燻蒸剤等各種殺虫殺菌処理がタンパク質材質(膠、絹など)に及ぼす影響の検討(2) (木川りか、早川典子、Tom Strang、Gregory Young、木村広) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) 古糊様多糖の調製と機能性(大倉隆則、西本友之、坂本くらら、茶園博人、福田恵温、早川典子、岡泰央) 日本応用糖質科学会平成20年度大会(第57回) 琉球大学 08.9.18

(5 学会発表) 古糊様多糖の構造解析(井ノ内直良、中浦嘉子、貞森達也、大倉隆則、西本友之、坂本くらら、茶園博人、福田恵温、早川典子、岡泰央) 日本応用糖質科学会平成20年度大会(第57回) 琉球大学 08.9.18

(6 講義) 修理技術者に必要な科学 国宝修理装飾師連盟平成20年度新人研修会 京都国立博物館 08.4.4

(7 所属学会) 高分子学会、日本応用糖質科学会、日本文化財科学会、文化財保存修復学会、マテリアルライフ学会(学会誌編集委員)、IIC

早川泰弘 HAYAKAWA Yasuhiro (保存修復科学センター)

(3 論文) 蛍光X線分析による地図資料の彩色材料調査 『歴史学研究』841 pp.29-34 08.6

(3 論文) Analysis of Pigments used in a Japanese Painting(Y.Hayakawa, S.Shirono, S.Miura, T.Matsushima) 『Advances in X-ray Analysis』51 pp.263-268 08.10

(3 論文) 国宝吉祥天像の彩色材料調査 『検査技術』14 pp.45-50 09.1

(3 論文) 銅系緑色顔料の多様性とその使用例 『保存科学』48 pp.109-118 09.3

(4 解説) 千年を経た色の本質に迫る—平等院仏後壁の彩色材料調査— 『別冊太陽 平等院 王朝の美 国宝鳳凰堂の仏後壁』 pp.20-23 pp.60-61 09.1

(5 学会発表) 国宝彦根屏風の彩色材料調査(早川泰弘、城野誠治) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14

(5 学会発表) X-ray Fluorescence Analysis of Japanese Cultural Objects, 2008 International Sym-

posium on Conservation Science for Cultural Heritage, Seoul, 08.9.30

(6 発表) 源氏物語千年紀—よみがえる源氏物語絵巻と放射線— 日本原子力文化振興財団 エネルギーと環境講座 第149回・第150回 東京・尼崎 08.08.19・08.08.26

(6 発表) 伊藤若冲「動植綵絵」の彩色材料について、コロタイプ技術の保存と印刷文化を考える会 第10回研究会 大手町サンケイプラザ 08.11.8

(7 所属学会) 日本分析化学会、日本化学会、文化財保存修復学会、日本文化財科学会

俵木悟 HYOKI Satoru (無形文化遺産部)

(2 報告書) 安房のみのご踊り映像記録作成委員会編『DVD「安房のみのご踊り」解説書』(田村勇・俵木悟・入江宣子・山村恭子) 千葉県伝統文化伝承事業実行委員会 09.3

(3 論文) 無形文化遺産の映像記録作成の意義と課題—無形の民俗文化財を中心に— 『地域政策研究』45 pp.50-56 08.12

(3 論文) 民俗芸能の「現在」から何を学ぶか 『現代民俗学研究』1 pp.79-88 09.3

(4 文献目録) 民俗芸能研究文献目録—平成17年— (俵木悟・渡辺伸夫編) 『民俗芸能研究』44 pp.1-39 08.3 (前年度業績)

(4 解説) 春日の太鼓踊り 『民俗芸能』89 pp.38-52 08.11

(6 講演) 日本の無形民俗文化財の映像記録事業 韓国国立文化財研究所ワークショップ 韓国国立文化財研究所 08.10.16

(7 所属学会) 日本文化人類学会、日本民俗学会、民俗芸能学会 (理事)

(7 委員会) 全国民俗芸能大会企画委員、国立民族学博物館共同研究員、伝統文化活動データベース整備検討委員 (財団法人伝統文化活性化国民協会)、伊豆の民俗文化財調査事業調査委員 (静岡県教育委員会)、房総のみのご踊り映像記録作成委員 (千葉県伝統文化伝承事業実行委員会)

深津 (福岡) 裕子 FUKATSU Yuko (客員研究員)

(3 論文) 伝統工芸技術の記録と保存—江戸時代後期の「葛布地道中着」に用いられた素材の復元を事例として— 『無形文化遺産部研究報告』3 pp.61-74 09.3

藤井義久 FUJII Yoshihisa (客員研究員)

(2 報告) 日光山輪王寺本堂におけるオオナガシバンムシ *Priobium cylindricum* による被害事例について (小峰幸夫、木川りか、原田正彦、藤井義久、藤原裕子、川野邊渉) 『保存科学』48 pp.207-213 09.3

(2 報告) 穿孔抵抗測定法を用いた文化財建造物の構造部材の虫害評価に関する一考察—日光輪王寺における虫害を事例として— (藤井義久、藤原裕子、原田正彦、木川りか、小峰幸夫、川野邊渉) 『保存科学』48 pp.215-222 09.3

(3 論文) 木材の劣化診断技術の課題と展望 木材保存34 (6) pp.256-260 08.12

(5 学会発表) カラーマッチング法を用いた木材画像の色調補正—木材劣化診断用現場写真の色ずれ補正フィルターの開発— (柳田俊一、藤原裕子、藤井義久) 社団法人日本木材保存協会第24回年次大会メルパルク東京 08.06.2

(5 学会発表) 斜光照明による陰影画像を用いた触感に対応する表面粗さパラメータの導出アルゴリズム (柳田俊一、藤原裕子、藤井義久) (社) 精密工学会2008年度秋季大会 東北大学 08.09.18

(5 学会発表) 100GHz のミリ波に対する木材の透過特性 ~含水率および密度の影響~ (田中聡一、藤原裕子、藤井義久、奥村正悟) 日本木材加工技術協会第26回年次大会 東京大学 08.10.24

(5 学会発表) 土壌中に生息するヤマトシロアリコロニーからのガス検出 (丸山周、築瀬佳之、藤井義久、奥村正悟) 日本環境動物昆虫学会 京都大学 08.11.16-17

- (5 学会発表) 木造建築物におけるシロアリ被害の非破壊検出—広島県大崎下島(広島県呉市豊町御手洗)の若胡子屋跡での検出事例—(築瀬佳之、藤原裕子、藤井義久、村正悟、須田達、奥田辰雄) 日本環境動物昆虫学会 京都大学 08.11.16-17
- (5 学会発表) マイクロフォーカスX線CTによるアメリカカンザイシロアリ被害の可視化の試み(築瀬佳之、藤井義久、奥村正悟) 日本環境動物昆虫学会 京都大学 08.11.16-17
- (5 学会発表) 粒子層シロアリ物理バリアの性能評価方法(築瀬佳之、藤原裕子、藤井義久、奥村正悟、今村祐嗣) 日本環境動物昆虫学会 京都大学 08.11.16-17
- (5 学会発表) Non-destructive evaluation of termite attack in wood using acoustic emission monitoring and ceramic gas sensor (Yoshiyuki YANASE, Yoshihisa FUJII, Shogo OKUMURA, Tsuyoshi YOSHIMURA and Yuji IMAMURA), International AE conference, Kyoto
- (5 学会発表) 100GHzのミリ波に対する木材の透過特性～含水率の影響～(田中聡一、藤原裕子、藤井義久、奥村正悟) 第59回日本木材学会大会 松本市 09.3.15-17
- (5 学会発表) セラミックガスセンサを用いた木材腐朽菌から発生する水素および一酸化炭素の検出(築瀬佳之、藤原裕子、藤井義久、奥村正悟、森満範、田中裕美) 第59回日本木材学会大会 松本市 09.3.15-17
- (5 学会発表) 土壌中に生息するヤマトシロアリが放出する代謝ガスの検出(丸山周、築瀬佳之、藤井義久、奥村正悟) 第59回日本木材学会大会 松本市 09.3.15-17
- (6 講演会) 長寿命化住宅のための維持管理技術の展望 (社)日本木材保存協会創立30周年記念シンポジウム メルパルク東京 08.6.2
- (6 講演会) 京町屋の木部の劣化の診断・補修・維持管理について 京都市景観町づくりセンター講習会 京都西陣スタジオ 08.10.7
- (6 講演会) 木造住宅の腐朽・虫害とその対策 診断・提案・改修・維持管理サイクルの再構築にむけて (社)京都府建築士事務所協会伝統建築物の限界耐力計算講習会 京都学園大学町家キャンパス(小島家) 08.11.8
- (6 講演会) 文化財建造物の劣化診断と維持管理の体制整備について 「文化財の生物劣化対策の研究」平成20年度研究会 東京文化財研究所 08.10.6
- (6 講演会) 木造施設の劣化と維持管理 兵庫県木材研修会 兵庫県立丹波年輪の里 09.2.27
- (7 所属学会) 日本文化財科学会、日本木材学会、日本木材保存協会、日本環境動物昆虫学会、日本材料学会、日本木材加工技術協会、日本精密工学会、住環境疾病予防研究会、International Research Group on Wood Preservation
- (7 委員会) 社団法人日本木材保存協会理事、同木材劣化診断士委員会委員長、同木材劣化診断士講習会講師、東本願寺耐震調査研究委員会委員、財団法人慶長遣欧使節船協会木造船腐朽防止対策研究部会委員
- (8 教育) 京都大学大学院農学研究科准教授、財団法人建築研究委員会非常勤研究員(元離宮二条城、鹿苑寺、慈照寺、和田岬砲台他、生物劣化診断担当)

二神葉子 FUTAGAMI Yoko (文化遺産国際協力センター)

- (2 報告) GISを用いた文化遺産防災の新たな取り組み—内陸直下型地震を例として『第1回全国文化遺産防災サミット&フォーラム 2006/10/20~21 in 山形 報告書』 pp.147-154 東北芸術工科大学文化財保存修復研究センター 08.3 (前年度業績)
- (2 報告) Measurement and Assessment of Deterioration of a Brick Monument at Wat Mahathat, Ayutthaya by Digital Photogrammetry (Yoko Futagami and Hiro'omi Tsumura), Conservation of Monuments in Thailand [IV] Proceedings of the Fourth Seminar on Thai-Japanese Cooperation in Conservation of Monuments in Thailand, 4-5 September 2008 Auditorium, National

Gallery, Bangkok, Thailand, pp.23-26, Fine Arts Department, Thailand and National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, Japan, 09.1

(2 報告) Effect and Problems of Hydrophobic Treatment of Monuments for Conservation (Nobuaki Kuchitsu and Yoko Futagami), Conservation of Monuments in Thailand [IV] Proceedings of the Fourth Seminar on Thai-Japanese Cooperation in Conservation of Monuments in Thailand, 4-5 September 2008 Auditorium, National Gallery, Bangkok, Thailand, pp.71-81, Fine Arts Department, Thailand and National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, Japan, 09.1

(2 報告) Joint research project on the conservation of stone at Ta Nei Temple - A study on the effect of microorganisms on the stone surface, conducted in 2007-2008 - 『アジア諸国における文化遺産を形作る素材の劣化と保存に関する調査研究』 pp.94-97 東京文化財研究所 09.3

(2 報告) 日本の文化財保護法 『日本およびモンゴルの文化財保護に関するワークショップ 報告書』 pp.21-26 東京文化財研究所 09.3

(3 論文) 飯田市・文永寺石室五輪塔における蘚苔類の繁茂について (朽津信明、二神葉子) 『保存科学』 48 pp.33-42 09.3

(3 論文) 文化財危険地図 (Carta del Rischio del Patrimonio Culturale) (二神葉子、大竹秀実) 『京都歴史災害研究』 8 pp.1-5 09.3

(5 学会発表) 国指定文化財GISデータベースを用いた文化財の被害予測と災害レスキューへの活用 (二神葉子、隈元崇、森井順之、高尾曜) 文化財保存修復学会第30回記念大会 太宰府市中央公民館・九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) タ・ネイ遺跡の石材表面に付着する地衣類と基物への菌糸の陥入 (文光喜、二神葉子、朽津信明、柏谷博之) 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15

(6 発表) Joint Research Project on Conservation of Stone at Ta Nei Temple in 2007, 17th Technical Committee Meeting of the International Co-ordinating Committee for the Safeguarding and Development of the Historic Site of Angkor, Sokha Angkor Resort, Siem Reap, Cambodia, 08.6.4-5

(6 発表) Measurement and Assessment of Deterioration of a Brick Monument at Wat Mahathat, Ayutthaya by Digital Photogrammetry (Yoko Futagami and Hiro'omi Tsumura), Conservation of Monuments in Thailand [IV] Proceedings of the Fourth Seminar on Thai-Japanese Cooperation in Conservation of Monuments in Thailand, Auditorium, National Gallery, Bangkok, Thailand, 08.9.4-5

(6 発表) Effect and Problems of Hydrophobic Treatment of Monuments for Conservation (Nobuaki Kuchitsu and Yoko Futagami), Conservation of Monuments in Thailand [IV] Proceedings of the Fourth Seminar on Thai-Japanese Cooperation in Conservation of Monuments in Thailand, Auditorium, National Gallery, Bangkok, Thailand, 08.9.4-5

(6 発表) 日本の文化財保護法 日本およびモンゴルの文化財保護に関するワークショップ モンゴル教育・文化・科学省 08.09.10-11

(6 発表) An Approach to Disaster Prevention and Rescue of Cultural Properties by using GIS in Japan —Example of the National Research Institute for Cultural Properties, Tokyo—, Expert Meeting on Cultural Heritage in Asia and the Pacific “Restoration and conservation of immovable heritage damaged by natural disasters”, Siam City Hotel, Bangkok, Thailand, 09.1-14-16

(6 講演) 文化財防災へのGISデータベースの活用—イタリアの「文化財危険地図」を中心に— 第30回京都歴史災害研究会 立命館大学衣笠キャンパス歴史都市防災研究センター 08.12.19

(6 講演) 文化財防災情報システムの運用とその課題(二神葉子、森井順之) 第3回文化遺産防災サミット 東北芸術工科大学東京サテライトキャンパス 09.3.6

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本第四紀学会、地理情報システム学会、ICOMOS

邊牟木尚美 HEMUKI Naomi (特別研究員)

(2 報告書) 保存修復計画の方針(青木繁夫、邊牟木尚美) 『文化遺産国際協力コンソーシアム 協力相手国調査(モンゴル) ヘンティ県遺跡状況調査 報告書』 pp.79-82 09.3

銚井修一 HOKOI Shuichi (客員研究員)

(3 論文) 過去の高松塚古墳石室内の温湿度変動解析—保存施設稼働時の気象条件の影響と発掘直後の仮保存施設の影響—(小椋大輔、銚井修一、李永輝、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』48 pp.1-12 09.3

(5 学会発表) 高松塚古墳石室解体時の環境制御と石室内の温湿度(石崎武志、犬塚将英、小椋大輔、銚井修一、多羅間次郎) 文化財保存修復学会第30回記念大会 太宰府市中央公民館 08.5.17-18

(5 学会発表) 高松塚古墳石室解体時の石室及び周辺地盤の温湿度性状の熱水分同時移動解析(小椋大輔、多羅間次郎、銚井修一、石崎武志、北原博幸、犬塚将英) 文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15

(5 学会発表) スコータイ遺跡における仏像の保存に関する研究 周辺気象の計測と藻の繁茂状況(川本伸一、銚井修一、小椋大輔、宇野朋子) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20

(5 学会発表) 古墳壁画の保存に関する研究 その3 石室解体時の温湿度環境制御(小椋大輔、多羅間次郎、銚井修一、石崎武志、北原博幸) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20

(5 学会発表) 古墳壁画の保存に関する研究 その4 石室解体時における墳丘部の形状変化が石室の熱水分性状に与える影響(多羅間次郎、小椋大輔、銚井修一、石崎武志、北原博幸) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20

(5 学会発表) 古墳壁画の保存に関する研究 その5 古墳壁画発見時の熱性状解析(李永輝、小椋大輔、銚井修一、石崎武志) 日本建築学会大会学術講演会 広島大学 08.9.18-20

(7 所属学会) 日本建築学会、空気調和衛生工学会、ASHRAE、日本熱物性学会、日本伝熱学会、人間—生活環境系会議、エネルギー・資源学会、日本生気象学会、日本睡眠環境学会

(7 委員会) 古墳壁画保存活用検討会委員

(8 教育) 京都大学大学院工学研究科建築学専攻教授

前田耕作 MAEDA Kosaku (客員研究員)

(4 書評) 立川武蔵著「ヒンドゥー神話の神々」『週間読書人』09.5.16

(6 講演) まとめ・文化遺産の保護と考古学 異文化理解講座文化遺産保存と考古学の間で：西アジア・中央アジアの遺跡から 国際協力基金 08.3.31 (前年度業績)

(6 講演) ヘロドトスと古地図 朝日カルチャーセンター(新宿) 08.5.29

(6 講演) ヘレニズム JALアカデミー講座 NHK文化センター(青山) 08.4.7, 14, 28, 5.12, 19, 26

(6 講演) The Silk Road and Japan UNESCO Sub-Regional Workshop on the Serial World Heritage Nomination of the Silk Roads 西安 08.6.4

(6 講演) シルクロードと文化財保護 早稲田大学 08.6.9

(6 講演) アフガニスタンの歴史と文化 第12回国際理解・土曜セミナー 文京学院大学 08.6.7

(6 講演) 隣人山本吉左右の思い出 和光大学 08.9.14

(6 講演) ガンダーラ仏教美術とヘレニズム 岡山市立オリエント美術館 08.9.20

- (6 講演) パーミヤン遺跡をめぐる新しい調査研究 上智大学 08.10.14
- (6 講演) シルクロードと日本 三鷹ネットワーク大学 中近東文化センター 08.10.15
- (6 講演) ヘロドトスの世界 ギリシア協会講演会 ブリヂストン美術館 08.10.18
- (6 講演) 悠大なアフガニスタンの文化 アリアナ平和基金 愛知県教育会館 08.10.25
- (6 講演) アレクサンドロスはなにを日本にもたらしたか 朝日マリオン 中近東文化センター 08.11.12
- (6 講演) ガンダーラとシルクロード・中央アジア篇 中近東文化センター 09.3.8
- (7 所属学会・委員会) ユネスコ・アフガニスタン文化遺産保護国際調整委員、平山郁夫シルクロード美術館理事、日本・アフガニスタン協会理事、日中文化交流協会理事、学校法人和光学園理事、古代オリエント博物館評議員
- (8 教育等) 和光大学名誉教授

松岡秋子 MATSUOKA Akiko (客員研究員)

- (6 講演) 絵画作品の保存・修復 柳沢画廊(浦和) 09.3.28
- (8 教育) 壁画片の状態調査および調査書の記入方法について タジキスタン国立古物博物館 08.12.6
- (8 教育) 壁画片の収蔵方法および管理の手引き タジキスタン国立古物博物館 08.12.7, 12.9

間淵創 MABUCHI Hajime (客員研究員)

- (2 報告) 古墳等の高湿度作業環境での使用を想定した木材保存剤のかび抵抗性試験とTVOC測定 (間淵創、佐野千絵、木川りか) 『保存科学』48 pp.175-182 08.3
- (2 報告) 現地保存される古墳・遺構等における土壌及び石材に対する殺菌消毒剤の効果について (間淵創、佐野千絵) 『保存科学』48 pp.183-198 08.3
- (2 報告) キトラ古墳の微生物等の状況報告(2008) (木川りか、佐野千絵、間淵創、喜友名朝彦、立里臨、西島美由紀、杉山純多) 『保存科学』48 pp.167-174 08.3
- (5 学会発表) 遺構等保存施設内における土壌の殺菌消毒剤の検討 (間淵創、佐野千絵) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) 古墳壁画保存管理における室内大気分析の有効性と限界 (佐野千絵、間淵創、三浦定俊) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) 高松塚古墳発掘/石室解体作業に伴う取合部・断熱覆屋使用木材等の防カビ対策: DDACの検討と施工 (木川りか、間淵創、高妻洋成、降幡順子、肥塚隆保) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) 簡易なシステムによるカビの自家蛍光検出と“その場識別”に関する基礎的検討 (吉田直人、間淵創) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、室内環境学会
- (8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻教育研究助手

三浦定俊 MIURA Sadatoshi (客員研究員)

- (2 報告) 国宝高松塚古墳壁画の材料調査の変遷 (早川泰弘、佐野千絵、三浦定俊) 『保存科学』48 pp.119-132 09.3
- (3 論文) Mycobiota of the Takamatsuzuka and Kitora Tumuli in Japan, focusing on the molecular phylogenetic diversity of Fusarium and Trichoderma (Tomohiko Kiyuna, Kwang-Deuk An, Rika Kigawa, Chie Sano, Sadatoshi Miura & Junta Sugiyama), "Mycoscience", Vol.49, pp.298-311, 08.10
- (3 論文) 過去の高松塚古墳石室内の温湿度変動解析—保存施設稼働時の気象条件の影響と、発掘直後

の仮保護施設の影響— (小椋大輔、銚井修一、李永輝、石崎武志、三浦定俊) 『保存科学』48 pp.1-12 09.3

(3 論文) Thermal and moisture characteristics of Takamatuzuka Tumulus mound and its cooling (Takeshi Ishizaki, Sadatoshi Miura, Masahide Inuzuka and Mamoru Mimura), “The 31st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property -Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures”, pp.17-22, 09.3

(3 論文) Biological issues in the conservation of mural paintings of Takamatsuzuka and Kitortumuli in Japan (Rika Kigawa, Chie Sano, Takeshi Ishizaki, Sadatoshi Miura and Junta Sugiyama), “The 31st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property – Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures”, pp.43-50, 09.3

(3 論文) Microbiological survey of the stone chambers of Takamatsuzuka and Kitortumuli, Nara prefecture, Japan: a milestone in elucidating the cause of biodeterioration of mural paintings (Junta Sugiyama, Tomohiko Kiyuna, Kwang-Duek An, Yuka Nagatsuka, Yutaka Handa, Nozomi Tazato, Junko Hata-Tomita, Miyuki Nishijima, Tomomi Koide, Yukio Yaguchi, Rika Kigawa, Chie Sano and Sadatoshi Miura) ,“The 31st International Symposium on the Conservation and Restoration of Cultural Property – Study of Environmental Conditions Surrounding Cultural Properties and Their Protective Measures”, pp.51-74, 09.3

(4 解説) 「文化財の保存にたずさわる人のための行動規範」作成の経緯について 『文化財保存修復学会通信』125 pp.1-2 08.8.29

(5 学会発表) 古墳壁画保存管理における室内大気分析の有効性と限界 (佐野千絵、間淵創、三浦定俊) 文化財保存修復学会第30回大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) 透過X線撮影におけるフィルタリングの検討 (1) (松島朝秀、三浦定俊) 文化財保存修復学会第30回大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(6 講演) 科学の目で見た日本の伝統的顔料 愛知県立美術館講演会 愛知県美術館 08.10.25

(6 講演) 日本の博物館・美術館における保存修復担当者の研修 韓国文化人類学会シンポジウム 韓国伝統工芸大学 08.5.23-24

(6 講演) 保存担当学芸員が担う役割 文化財虫害研究所研修会 自治労会館 08.7.17

(6 講演) 梱包の科学 企画展示セミナー 文化庁文化財部 東京国立博物館・京都国立博物館 08.6.30・08.11.10

(6 講演) 過去に行われた壁画の材料調査について 第5回高松塚古墳壁画劣化原因調査検討会 文化庁 08.9.30

(6 講演) ラスコ洞窟壁画の保存状況 第7回高松塚古墳壁画劣化原因調査検討会 東京文化財研究所 08.12.11

(6 講演) 文化財修理と科学 文化財(美術工芸品)修理技術者講習会 文化庁文化財部 京都国立博物館 08.10.22

(6 講演) 保存環境のこれまでとこれから 博物館保存科学研究会 三重県立美術館 09.2.13

(6 講演) 文化財保存の35年—モナリザから高松塚まで— 「文化財保全技術」2008年度第4回研究会 国際高等研究所 09.2.28

(7 所属学会) 文化財保存修復学会(諮問委員)、日本文化財科学会(評議員)、The International Institute for Conservation of Historic and Artistic Works(IIC)、応用物理学会、計測自動制御学会、日本リモートセンシング学会、日本光学会、日本アイソトープ協会、美術史学会、日本文化財探査学会、International Council of Museums(ICOM) (日本委員会委員)、International Council on

Monuments and Sites(ICOMOS)

(7 委員会) 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館運営会議、日本銀行金融研究所貨幣博物館諮問委員会、特定非営利活動法人ジェイ・シー・ピー (評議委員)

(8 教育) 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻非常勤講師

三上豊 MIKAMI Yutaka (客員研究員)

(4 解説) 町田市ゆかりの美術家たち (町田市市制50周年記念大学連携事業) 和光大学HP

(5 発表) いま、あらためて展覧会カタログを見直す (水谷長志、松本透、田中淳、中島理壽、今橋映子) アート・ドキュメンテーション学会 和光大学 09.3.20

(6 研究発表) アナログ編集者は、なぜデジタル編集についていけなくなったか—主に横浜トリエンナーレ08のカタログをめぐる— 企画情報部研究会 東京文化財研究所 09.2.25

(7 所属学会) 東方学会、アート・ドキュメンテーション学会

(8 教育) 和光大学表現学部芸術学科教授 (連携併任)

三村衛 MIMURA Mamoru (客員研究員)

(3 論文) 全国電子地盤図の作成と地盤防災への適用性に関する研究—電子地盤図作成手法の構築— (山本浩司、三村衛、吉田光宏) 『京都大学防災研究所年報』51B pp.331-338 08.4

(3 論文) 高松塚古墳発掘調査による地盤特性の評価 (三村衛、吉村貢、金田遙) 『京都大学防災研究所年報』51B pp.305-314 08.4

(3 論文) 高松塚古墳版築土の構造と工学的特性について (三村衛、吉村貢) 『歴史的地盤構造物の構築技術および保存技術に関するシンポジウム論文集』 pp.80-85 08.6

(3 論文) 国宝高松塚古墳を救え 『建設業界』57-6 pp.4-7 08.6

(3 論文) Development of Network Drain Method and Its Application to Construction Project (Mimura, M., Ishiguro, T., Isano, T., Sato, H. Matsushima, M. and Jang, W-Y.), Proc. International Symposium on Lowland Technology, pp.357-363, 08.9

(3 論文) Development of Representative Soil Profile Model Based on Geoinformatic Database (Mimura, M. and Yamamoto, K.), Proc. International Symposium and Exhibition on Geoinformation 2008, Keynote Session 1, CD-R, 08.10

(3 論文) 高松塚古墳壁画の被災要因の調査と石室解体に向けた工学的貢献 (三村衛、吉村貢) 『自然災害科学』27-3 pp.307-317 08.11

(5 学会発表) 地盤情報データベースによる液状化危険度の広域的評価 (濱田晃之、山本浩司、武川順一、三村衛) 第43回地盤工学研究発表会 広島市 08.7.9-11

(5 学会発表) 表層地盤のデータベース連携に関する研究—全国電子地盤図の構築に向けて— (藤堂博明、安田進、三村衛、村上哲、大井昌弘、山本浩司) 第43回地盤工学研究発表会 広島市 08.7.9-11

(5 学会発表) 大阪平野における全国電子地盤図の作成—パイロット・スタディー (山本浩司、三村衛、三田村宗樹、大島昭彦、小田和広) 第43回地盤工学研究発表会 広島市 08.7.9-11

(5 学会発表) 地盤情報DBによる代表的地盤情報の抽出—電子地盤図の作成手法について— (三村衛、吉田光宏、山本浩司、近藤隆義) 第43回地盤工学研究発表会 広島市 08.7.9-11

(5 学会発表) 高松塚古墳墳丘の構造と地盤特性について (三村衛、吉村貢、糸賀裕美) 第43回地盤工学研究発表会 広島市 08.7.9-11

(5 学会発表) 高松塚古墳石室解体時の壁面とクレーンベース基礎地盤の安定性評価 (吉村貢、三村衛、糸賀裕美) 43回地盤工学研究発表会 広島市 08.7.9-11

(5 学会発表) 東大阪平野から採取された洪積粘土の長期圧密試験 (小田和広、丹原秀大、藤原照幸、長屋淳一、三村衛、大島昭彦、小高猛司、肥後陽介) 第43回地盤工学研究発表会 広島市 08.7.9-11

- (5 学会発表) 高松塚古墳墳丘版築土の構造と強度・透水特性について (金田遙、三村衛、吉村貢) 43回地盤工学研究発表会 広島市 08.7.9-11
- (5 学会発表) GIS解析による中越地震地盤災害分布と地形・地質情報との相関 (井上直人、三村衛、大塚悟、北田奈緒子、村上貴志) 43回地盤工学研究発表会 広島市 08.7.9-11
- (6 講演) 国宝高松塚古墳壁画の保全と土木工学 「大阪建設業協会 土木工事における品質確保等事例講習会特別講演」 エル大阪 09.3.6
- (6 講演) Long-term settlement of the Pleistocene Deposits at Kansai International Airport, Special Lecture, The G.N. Gumilyov Eurasian National University, 08.11.23.
- (6 発表) 地下構造データを統合した地盤変状評価システム～鳥羽市大明地区を例として～ 「京都大学防災研究所一般共同研究19G-09研究会」 京都大学防災研究所 09.2.23
- (6 発表) 地盤情報データベースに基づく地盤災害評価支援プログラムの構築 (三村衛、井合進、飛田哲男、折井友香) 「京都大学防災研究所平成20年度研究発表会」 テルサ京都 09.2.25
- (6 発表) 全国電子地盤図手法の地域への適用と閲覧機能の視覚化 (山本浩司、三村衛、矢田部龍一) 「京都大学防災研究所平成20年度研究発表会」 テルサ京都 09.2.25
- (7 所属学会) 土木学会、地盤工学会、日本材料学会、地震工学会、GIS学会、日本自然災害学会
- (7 委員会) 古墳壁画保存活用検討会委員、国営平城宮跡歴史公園地盤施工環境検討委員会委員、地盤工学会講座編集委員会委員長、自然災害科学編集委員会委員長、地盤工学会地盤調査法規格基準委員会委員長、土木学会歴史的な地盤構造物の築構技術および保存技術に関する研究委員会委員、KG-Net 関西圏地盤研究会学識委員、最近のCPTテクノロジーとその設計・環境・防災への適用に関する研究委員会委員長、斜面防災検討委員会 (JR西日本) 学識委員、道路路面健全性評価検討委員会学識委員、Urban Geoinformatics国内委員会幹事、京都市災害時専門家アドバイザー、建設コンサルタンツ協会近畿支部地盤環境・地盤情報の地震防災システムへの活用に関する研究委員会副委員長、関西国際空港二期地区地盤挙動検討委員会委員、関西国際空港二期地盤挙動共同研究管理委員会学識委員、地盤情報とハザードマップに関する国際シンポジウム実行委員会委員長
- (8 教育) 京都大学防災研究所准教授、京都大学大学院工学研究科非常勤講師、京都大学工学部地球工学科非常勤講師

宮田繁幸 MIYATA Shigeyuki (無形文化遺産部)

- (2 報告) 第57回全国青年大会郷土芸能講評 『第57回全国青年大会報告書』 日本青年団協議会 p.96 09.1
- (3 論文) 神楽の文化財指定 『プロジェクト研究「民俗芸能における神楽の諸相」報告書』 京都市立芸術大学伝統音楽研究センター pp.159-167 08.3
- (4 解説) 無形文化遺産保護条約の現状 『世界遺産年報 2009』 社団法人日本ユネスコ協会連盟 p.47 08.12
- (5 発表) 日本無形文化遺産の保護と普及 2008富川世界無形文化遺産EXPO 国際学術会議 大韓民国富川市 08.10.11
- (5 発表) The Creation of Future Intangible Cultural Heritage in Japan 国際セミナー「無形文化遺産の共有」 メキシコ合衆国オアハカ市 09.1.23
- (6 講演) ユネスコ無形文化遺産保護条約と日本の無形文化遺産 無形文化遺産フォーラム～日本の漆文化「輪島塗」を無形文化遺産に～ 輪島市文化会館 08.6.1
- (6 講演) 世界遺産・地域遺産活動のめざすもの—無形文化遺産保護条約をめぐる— 2008東北ブロック・ユネスコ活動研究会秋田大会 秋田ビューホテル 08.7.13
- (6 講演) 日本の無形文化遺産インベントリーと人間国宝システムについて 無形文化遺産保護のための第2回集団研修 メトロポリタンホテル 08.12.12

(7 所属学会) 民俗芸能学会 (理事)、にわか学会 (企画委員)、楽劇学会
(7 委員会) 芸術文化振興基金運営委員会専門委員会、文化庁国際民俗芸能フェスティバル企画委員会、文化庁文化審議会文化財分科会特別委員会、講談調査推進委員会、伝統文化活動データベース整備検討委員会、全国民俗芸能大会企画委員会、伝統文化こども教室関連事業企画委員会、ふるさと文化再興事業企画委員会

森井順之 MORII Masayuki (保存修復科学センター)

(2 報告) 臼杵磨崖仏における凍結劣化防止策の検討—予測とその評価— 『日韓共同研究報告書2008—文化財保存環境と復元技術研究—』 pp.63-82 国立文化財研究所 (大韓民国) / 東京文化財研究所 08.11

(2 報告) ボロブドゥール遺跡における保存環境モニタリングについて—排水システムの監視を中心に— 『インドネシア文化観光省 ボロブドゥール遺跡保存研究所との研究交流業務報告書 (2008年度)』 pp.80-84 東京文化財研究所 09.3

(2 報告) Monitoring Methods for the Next Conservation Work at the Usuki Stone Buddha (Buddhist Images Carved on Natural Cliff) 『インドネシア文化観光省 ボロブドゥール遺跡保存研究所との研究交流業務報告書 (2008年度)』 pp.110-122 東京文化財研究所 09.3

(2 報告) キトラ古墳保護覆屋内の環境について (4) —周辺風環境の解析および覆屋内環境監視— (森井順之、犬塚将英、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』 48 pp.159-166 09.3

(3 論文) 紫外線照射装置を用いた磨崖仏着生生物の除去 (森井順之、川野邊渉、山路康弘、柏谷博之) 『保存科学』 48 pp.21-32 09.3

(3 論文) Conservation Environment and Conservation Studies for Stone Heritage in Japan Proceedings of the 2008 International Symposium on Conservation Science for Cultural Heritage pp.25-27 National Research Institute of Cultural Heritage, Korea, 08.9

(5 学会発表) 国指定文化財GISデータベースを用いた文化財の被害予測と災害レスキューへの活用 (二神葉子、隈元崇、森井順之、高尾曜) 文化財保存修復学会第30回記念大会 九州国立博物館 08.5.17-18

(5 学会発表) 臼杵磨崖仏における凍結破砕防止策の検討 (3) —覆屋内温熱環境の予測と凍結防止策の提案— 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 08.6.14-15

(5 学会発表) Conservation Environment and Conservation Studies for Stone Heritage in Japan, 2008 International Symposium on Conservation Science for Cultural Heritage, Seoul KyoYuk MunHwa Hoekwan, 08.9.29-10.1

(5 学会発表) 文化財防災情報システムの運用とその課題 (二神葉子、森井順之) 専門家会議第3回全国文化遺産防災サミット 東北芸術工科大学・京都造形芸術大学東京サテライトキャンパス 09.3.6

(6 発表) 臼杵磨崖仏における凍結劣化防止策の検討—予測とその評価— 日韓共同研究・2008年度研究報告会 国立文化財研究所 (大韓民国) 08.11.6

(6 発表) 国宝・臼杵磨崖仏 覆屋建造後の環境計測 中日合作唐陵石刻保護項目2008年度学術検討会 唐城賓館月季庁 (中華人民共和国・西安) 08.11.18

(6 発表) Monitoring Methods for the Next Conservation Work at the Usuki Stone Buddha (Buddhist Images Carved on Natural Cliff), Seminar on the Monitoring of Historic Sites in Borobudur Heritage Conservation Institute, Borobudur Heritage Conservation Institute (Indonesia), 09.2.11

(7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、土木学会、日本気象学会、水文・水資源学会

森下愛子 MORISHITA Aiko (客員研究員)

(3 論文) 近代京都の陶芸技術にみる古典へのまなざし—革新と復古の間で京焼陶工が目指したもの—
『無形文化遺産部研究報告』3 pp.75-90 09.3

森下正昭 MORISHITA Masaaki (客員研究員)

(4 翻訳) タイモン・スクリーチ発表要旨「おじいさんの斧」日本文化史におけるオーセンティシティ
と再生—宇治橋を例に」『第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—
文化財アーカイブ構築のために」予稿集』p.22 08.12

(6 発表) 美術館とオリジナル：コンテンポラリーアートをめぐる問題 企画情報部研究会 東京文化
財研究所 08.10.8

(6 シンポジウム司会) セッション討議 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「“オリジ
ナルの行方—文化財アーカイブ構築のために」東京国立博物館 08.12.7

(6 講演) '... but is it a museum?: Ideas and ideals of museum management' 英国スコットラン
ド、セント・アンドリューズ大学美術史科講演 08.09.12

(7 所属学会) British Sociological Association、College Art Association、East Asian Archaeo-
logical Association、Museums & Society編集委員 (英国)

(8 教育) 上智大学国際教養学部非常勤講師

山内和也 YAMAUCHI Kazuya (文化遺産国際協力センター)

(2 報告書) 山内和也編著 『バーミヤーン遺跡保存事業概報—2007年度(第8次ミッション)—』ア
フガニスタン文化遺産調査資料集概報第4巻 アフガニスタン・イスラーム共和国情報文化省、独立行
政法人国立文化財機構東京文化財研究所・奈良文化財研究所 08.6

(2 報告書) Kazuya YAMAUCHI ed., Preliminary Report on the Safeguarding of the Bamiyan
Site 2007 —8th Mission-, Recent Cultural Heritage Issues in Afghanistan, Preliminary Report
Series 4, Ministry of Information and Culture, Islamic Republic of Afghanistan, Japan Center for
International Cooperation in Conservation, National Research Institute for Cultural Properties,
Tokyo/Nara, 08.

(2 報告書) 山内和也編 『バーミヤーン仏教石窟出土権皮仏典の保存修復』アフガニスタン文化遺産
調査資料集概報第5巻 アフガニスタン・イスラーム共和国情報文化省、独立行政法人国立文化財機構
東京文化財研究所・奈良文化財研究所 08.8

(2 報告書) Kazuya YAMAUCHI ed., Preliminary Report on the Environmental Investigation
for the Conservation of the Bamiyan Site: 2005 and 2006 Seasons, Recent Cultural Heritage
Issues in Afghanistan, Supplement 3, Ministry of Information and Culture, Islamic Republic
of Afghanistan and Japan Center for International Cooperation in Conservation, National
Research Institute for Cultural Properties, Tokyo, 09.

(2 報告) アフガニスタン、バーミヤーン仏教壁画に関する調査と成果(谷口陽子、マリーン・コット、
ジョイ・マズレック、山内和也) 『平成20年度考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査
報告会報告集』日本西アジア考古学会 pp.120-124 09.3

(2 報告) タジキスタン、アジナ・テバ仏教寺院の保存事業—2008年度の成果—(山内和也、有村誠) 『平
成20年度考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会報告集』日本西アジア考古学
会 pp.114-119 09.3

(4 解説) バーミヤーン遺跡保存事業 『文化遺産国際協力事業紹介』文化遺産国際協力コンソーシアム
pp.8-9 09.1

(4 解説) Project for Preservation of Bamiyan, Japan's International Cooperation in Heritage

- Conservation, Japan Consortium for International Cooperation in Cultural Heritage, pp.8-9, 09.3.
- (6 発表) Presentation on the archaeological survey conducted in 2007 and the training workplan for the Afghan authorities, in Expert Coordination Meeting for the Preservation of the Bamiyan Site, German ICOMOS, Munich, 08.6.12-13.
- (6 発表) パーミヤーン壁画の保存修復 (山内和也、島津美子) ワークショップ「中央アジア出土壁画の保存修復」タジキスタン古物博物館 08.12.5
- (6 発表) アフガニスタン、パーミヤーン仏教壁画に関する調査と成果 (谷口陽子、山内和也) 平成20年度考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会 古代オリエント博物館 09.3.15
- (6 発表) タジキスタン、アジナ・テバ仏教寺院の保存事業—2008年度の成果— (山内和也、有村誠) 平成20年度考古学が語る古代オリエント 第16回西アジア発掘調査報告会 古代オリエント博物館 09.3.15
- (6 発表) 紛争復興と世界遺産—日本の取り組み— 文化遺産の保護と地域開発—パーミヤーン渓谷の文化的景観と考古遺跡群— 世界遺産と開発、貧困撲滅に向けた開発協力 国連大学 (UNU) ウ・タント国際会議場 08.8.29
- (6 発表) パーミヤーン大仏の再建をめぐる 龍谷大学アフガニスタン仏教遺跡学術調査報告会2009 仏教西漸—アフガニスタンからトルクメニスタン、そしてイランへ— 龍谷大学主催 龍谷大学深草学舎 09.3.28
- (7 所属学会) 日本オリエント学会、日本西アジア考古学会、ICOMOS

山梨絵美子 YAMANASHI Emiko (企画情報部)

- (3 論文) 渡辺豊次郎／豊洲—「画家」になれなかった「絵師」『激動期の美術』ペリかん社 pp.195-219 08.10
- (4 解説) 桂ゆき 遊びとユーモアのカラージュ 『MINERVA2008』 pp.41-48 世界文藝社
- (4 エッセイ) 黒田清輝 政治家としての側面 『国宝倶楽部』 pp.2-9 08.12
- (4 解説) 黒田清輝のフランス留学 特集陳列『黒田清輝のフランス留学』図録 東京国立博物館 第18室 09.3
- (4 解説) 作品解説(「裸婦習作」他) 特集陳列『黒田清輝のフランス留学』図録 東京国立博物館 第18室 09.3
- (4 解説) 特集「裸婦」(総論、章解説、作家解説) 『別冊太陽』 09.3
- (6 研究発表) ウィット・ライブラリと美術研究所構想 企画情報部研究会 08.5.9
- (6 講演) 五姓田派の位置—江戸と明治のはざままで 神奈川県立歴史博物館 08.9.14
- (6 講演) 昭和の女性画家—戦争と美術 1～3 江東区男女共同参画センター 08.10.18、25、11.1
- (6 シンポジウム司会) セッション討議 第32回文化財の保存及び修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために」 東京国立博物館 08.12.6
- (6 発表) サー・ロバート・ウィット・ライブラリーと矢代幸雄の美術研究所構想 第32回文化財の保存に関する国際研究集会「オリジナルの行方—文化財アーカイブ構築のために」 東京国立博物館平成館 08.12.8
- (6 発表) 失われゆくものの自覚—高橋由一、小林清親を中心に 国際シンポジウム「明治：近代化とノスタルジア」 国際基督教大学 09.1.31
- (6 講演) 1920—40年代日本洋画における東洋美術の再評価 韓国国立中央博物館 09.3.25
- (6 講義) 構想画の行方—裸体、物語、モニュメンタルなものという観点から 金沢美術工芸大学 08.10.15-16
- (8 展示) 「写された黒田清輝Ⅱ」企画展示 黒田記念館展示室 09.3.19—

吉田千鶴子 YOSHIDA Chizuko (客員研究員)

- (1 著書) 『近代東アジア美術留学生の研究』 ゆまに書房 09.2
- (4 解説) 六角紫水と古社寺宝物調査 『国宝を創った男・六角紫水』 pp.91-92 広島県立美術館 08.11
- (4 資料紹介) 大村西崖の渡欧日記 『近代画説』 pp.102-132 08.12
- (7 所属学会) 明治美術学会、日本フェノロサ学会
- (8 教育) 東京藝術大学美術学部非常勤講師

吉田直人 YOSHIDA Naoto (保存修復科学センター)

- (2 報告) 展示公開施設の館内環境調査報告—平成19年度— (吉田直人、佐野千絵、石崎武志) 『保存科学』 48 pp.247-252 09.3
- (3 論文) 可視反射分光スペクトル法による染料分析—近世絵図資料彩色調査への応用— 『歴史学研究』 841 pp.35-42 08.6
- (3 論文) 色材の「デジタルカメラ分光分析」に関する基礎的検討 『保存科学』 48 pp.51-61 09.3
- (5 学会発表) 簡便なシステムによるカビの自家蛍光検出と“その場識別”に関する基礎的検討 (吉田直人、間淵創) 文化財保存修復学会第30回大会 太宰府市中央公民館および九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) ハンディ型光学顕微鏡との組み合わせによる彩色材料の可視反射分光分析 日本文化財科学会第25回大会 鹿児島国際大学 06.6.14-15
- (6 講演) 文化財施設における保存環境とモニタリング 松山市考古館 08.10.16
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本文化財科学会、日本生物物理学会

呂俊民 RO Toshitami (客員研究員)

- (3 論文) ポーラ美術館における室内空気清浄化のための火山ガスの調査 (呂俊民、佐野千絵、内呂博之、荒屋鋪透) 『保存科学』 48 pp.13-20 09.3
- (5 学会発表) ポーラ美術館における作品素材を用いた環境モニタリング (呂俊民、天野健太郎、内呂博之、荒屋鋪透、佐野千絵) 文化財保存修復学会第30回大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) 展示・保存環境の酸性雰囲気改善のための研究 (呂俊民、瀬古繁喜、石黒武、佐野千絵) 文化財保存修復学会第30回大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) ポーラ美術館における害虫モニタリング調査および防除対策 (宮田弘樹、呂俊民、内呂博之、荒屋鋪透) 文化財保存修復学会第30回大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) ポーラ美術館における環境微生物調査及び、収蔵庫における異なる空調モードでの空中浮遊菌数の変化 (齊藤智、宮田弘樹、呂俊民、内呂博之、荒屋鋪透) 文化財保存修復学会第30回大会 九州国立博物館 08.5.17-18
- (5 学会発表) 美術館立地環境の金属試験片を用いた調査—建設計画時のモニタリング— (佐野千絵、呂俊民) 第49回大気環境学会年会 金沢大学 08.9.17-19
- (5 学会発表) 美術館・博物館における空気環境の最適化に関する研究 その1 展示・収蔵環境の空気質の解析 (呂俊民、瀬古繁喜、石黒武、佐野千絵) 日本建築学会大会 広島大学 08.9.18-20
- (5 学会発表) ポーラ美術館での環境微生物調査 (齊藤智、呂俊民) 日本建築学会大会 広島大学 08.9.18-20
- (5 学会発表) 美術館におけるアンモニア汚染と対策 (呂俊民、佐野千絵、内呂博之、瀬古繁喜、天野健太郎) 室内環境学会大会 タワーホール船堀 08.12.1-2
- (7 所属学会) 文化財保存修復学会、日本建築学会、室内環境学会、大気環境学会、日本エアロゾル学会

綿田稔 WATADA Minoru (企画情報部)

(3 論文) 自牧宗湛(下)『美術研究』395 pp.20-56 08.8

(3 論文) 聚光院の成立時期についての一仮説—障壁画作期議論の前提として— 『美術研究』396 pp.25-44 08.11

(4 展評) 狩野永徳展 『美術研究』396 pp.53-60 08.11

(4 解説) 波月等薩筆花鳥図屏風(国立ヴィクトリア美術館蔵) 『在外日本古美術品保存修復協力事業 修理報告書 平成20年度(絵画/工芸品)』 pp.110-114 東京文化財研究所 09.3

(4 翻訳) マシュー・M・マッケルウェイ「室町時代狩野派扇面画の“オリジナル”—宋画との関連—」 発表要旨 『第32回文化財の保存と修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために—」 予稿集』 p.14 08.12

(6 発表) 雪舟というオリジナルな存在—作家論の功罪— 第32回文化財の保存と修復に関する国際研究集会「“オリジナル”の行方—文化財アーカイブ構築のために—」 東京国立博物館 08.12.7

(7 所属学会) 美術史学会

(8 委員) 雪舟研究会(山口県立美術館) 研究委員

(8 教育) 武蔵野美術大学非常勤講師